

第八十六回
帝國議會
貴族院

外資金庫法案特別委員會會議事速記第六號

付託議案

- 軍需金融等特別措置法案
- 臨時資金調整法中改正法律案
- 臨時金融庫法中改正法律案
- 生命保險中央會法案
- 損害保險中央會法案
- 臺灣銀行法中改正法律案

昭和二十年二月三日(土曜日)午後一時三十分開會

○委員長(男爵東鄉安吾) 是ヨリ開會致シマス、本日ハ議事ノ都合ニ依リマシテチヨット後戻リ致シマスガ、軍需金融等特別措置法案ニ付キマシテ松本委員ヨリ發言ヲ求メラレマシタ、之ヲ許可致シタイと思ヒマス、松本君

○松本泰治君 私ハ此ノ法律ノ第十五條ニ付キマシテ、質問ヲ致シ且自然意見ニナルカト思ヒマスガ、意見ヲ申述ベタイノデアリマス、此ノ規定ハタツタ一條デゴザイマシテ、一見シマスルト大シタモノトモ見エマセヌガ、實ハ此ノ中ニ非常ニ大キナ民法ノ一般問題ニ關係ノアルコトヲ包藏シテ居リマス、之ニ付テ先ツ此ノ立法ノ御趣旨ヲ伺フテ……伺ハナクテモ宜イ位デアリマシマス、先ツ御趣旨ダケヲ伺フテ、然ル後ニ多少ノ意見ヲ申述ベサセテ戴キタイと思ヒマス、就テハ此ノ規定ハ實ハ非常ニムツカシイ規定デアリマス、工場財團、其ノ他ノ財團ノ法律ハ澤山アリマスルガ、此ノ財團ノ法律關係ト云フモノハ實ハ非常ニ錯綜シテ居ルモノデアリマシテ、ムツカシイモノデアリマス、甚ダ恐縮デゴザイマスルガ、私ノ

意見ヲ御了解ヲ願フ爲ニハ、多少講義ガマシヤウナコトヲ申上ゲルノデアリマスガ、委員諸君ノ中ニハソノナコトハ勿論知ツテ居ル話ダト云フヤウニ御考ノコトモ或ハ申述ベタ方ガ御了解ヲ得ルノニ宜イカト考ヘマスノデ、サウ云フヤウナ講義ガマシイコトヲ申述ベルコトヲ豫メ御許ヲ願フテ置キマス、此ノ第十五條ハ軍需金融機關ニ對シテ設定シマスル工場財團、其ノ他ノ財團ノ抵當權ニ付キマシテハ、此ノ一般法ニ依リマスルト、財團目錄ヲ精細ニ拵ヘルノデアリマス、一ツノ色々ナモノニ付テノ記載ヲスルノデアリマス、併シ此ノ特別規定ニ依リマシテ、機械器具、電柱、電線其ノ他ノ物件ハ勅令ノ規定ニ依リマシテ、一括表示ヲ許サウト云フコトデアリマス、是ハ非常ニ此ノ際必要ナ規定ト思ツテ居リマス、何トナレバ此ノ財團目錄ノ調整ハ非常ニ時間ヲ要スル、數箇月ハドウシテモ必要デアリマス、デサウ云フ手續ヲ簡略ニシテヤラウト云フコトハ此ノ軍需金融ヲヤリマス以上、此ノ際殊ニ必要ナコトト思ヒマス、此ノ御趣旨ハ勿論私ノ贊成スル所デアリマス、唯後デ申述ベマスルガ、此ノ二項ノ規定ニチヨット大變ナ大キナ缺點ガアルト考ヘテ居ルノデアリマスルガ、之ニ先立チマシテ工場財團其ノ他ノ財團ニ付キマシテ先程御斷リシヤウニ、御承知ノコトト思ヒマスガ、少シ述ベサシテ戴キマスルガ、此ノ工場財團其ノ他ノ財團ハ特別法ノ規定ニ依リマシテ、其ノ工場ニアリマスル總テノ色々ナ財産ヲ一括

シマシテ、サウシテ財團目錄ニ記載ラ致シマスルト、其ノ財團自身ガ恰モ一ツノモノデアアルヤウニ見ラレマシテ、其ノ上ニ抵當權ガ設定セラレル、サウ云フ觀念デアリマス、何故サウ云フモノガ出來テ參ツタカト申シマス、工場ヤ何カハ其ノ工場全體ガ働タガ故ニ大イナル財産價值ガアル、之ヲ一ツツ其ノ組成財産ヲ離シテ採算致シマシテ、例ヘバ土地、建物、機械ト云フヤウニ、一ツノ見マシテハ値打ハアルカモ知レマセヌガ、之ヲ賣ツタ所ガ大シタ値打ハナイ、デ此ノ財團ノ金融ト云フコトハ財團ノ全體ガ集ツテサウシテ大キナ仕事ガ出來ルガ故ニ値打ガアル、仍テ其ノ全體ヲ抵當ノ目的ニスル、所謂「アーニング・パワー」ト云フコトヲ申シマス、是ハ工場モアリマス、鑛山モアリマス、色々ナモノガアリマス、鐵道モアリマス、軌道モアリマス、或ハ自動車營業等モアリマス、色々澤山ノ財團ノ法律ガゴザイマスガ、是等ハ一ツノ事業全體ガ、或「アーニング・パワー」ヲ持ツテ居ル、ソレヲ目當ニシテ抵當ニ入レサシテ金ヲ貸ス、多クノ場合ニ於テハ社債ノ擔保トシテ工場財團ヲ設定セシメテ、抵當權ヲ設定スルト云フヤウナコトニナルノデアリマスガ、其處デ此ノ工場財團、其ノ他ノ財團ノ財産ト云フモノハ實ニ多イ、多種多様デアリシ又非常ニ多イモノデアリマス、ノミナラズ日本デハ餘リソレヤアリマセヌケレドモ、「アメリカ」アタリデハ、一事業者ノ持ツテ居ル全部ノ工場ヲ、皆一ツノ抵當權ノ目的ニシテ入

レサスト云フコトヲヤツテ居リマス、其ノ理由ハドウ云フ譯カト申シマス、サウシナイト抵當權ノ目的ニシタ或工場ヲ働カセナイヤウニシテシマフ、サウシテ他ノ方デ盛ニヤル、サウシテソレヲ又抵當ニ入レル、抵當ニ入レテ金ヲ借りレバソレデモ宜イカラ、又別ノ方ニ力ヲ用ヒルト云フヤウナコトガ「アメリカ」デハ彼處ハ隨分狡猾ナ人間ガ多イ所デスカラ、サウ云フコトノ弊害ガ非常ニアツタ爲ニ、「アメリカ」アタリノ工場財團、鐵道財團等ニ於キマシテハ、一事業會社ノ全部ノ財産ヲ入レサセテシマフ、サウ云フヤウナヤリ方、ノミナラズ將來ニ於テ工場其ノ他ヲ設ケレバ必ズソレモ其ノ抵當ノ目的ニ入レナケレバナラヌト云フコトヲ抵當權設定契約ニ於テ定メルコトガ通常デアリマス、日本デハサウ云フ例ハ餘リ多クハゴザイマセヌ、併シ日本ニ於ケル外貨債ノ發行ノ場合ニハ矢張りサウ云フコトニシテ行ハレタノデアリマス、勢クトモ一工場ノ財産ハ全部ヲ入レルノデアリマス、勿論其ノ重要デナイ、何處カラデモ持ツテ居ラレルヤウナモノ迄ハ入レナイトシマシテモ、其ノ工場ノ働キ完全ニサス爲ニ必要ナ財産ハ何處迄モ皆入レテ、有ラユル機械有ラユル器具、發動機一ツデモ計算器一ツデモ、サウ云フモノ迄皆入レテ其ノ財團ガ、例ヘバ競賣等ニ依ツテ他人ノ所ニ行キマシテモ、直チニソレデ前ト同ジヤウニ働キ得ルダケノ財産ヲ皆入レルト云フノ通常デアリマス、サウ云フ趣意デ財團ノ法律モ出來テ居

リマスルシ、又サウ云フ趣意デ運營ガサレテ居ルノデアリマス、茲ニ於テカ財團ヲ組成スベキ機械器具トカ云フヤウナモノハ、是ハ全部デアリマスカラ大變ナコトニナル、ソレデ其ノ財團目錄ヲ調整シマスルト、或場合ニハ人ノ背ノ高サヨリ高位ノモノガアル、現ニ外貨債ノ場合ニハサウ云フモノガ出來テ居ル、其處デソレヲ調整スルノニハ大變ナ時間ガ掛ル、又努力モ掛ル、ソレハ斯ウ云フ際ニハ困ル、軍需金融ニ限ツテ一括シテ表示ラシテ一々、發動機ガドウトカ、ドレガドウト云フヤウナコト迄モ書カヌデモ宜イヤウニシテ、サウシテヤラウト云フ御考ト思フノデ、是ハ勿論然ルベキ立法デ私ハ此ノ御趣旨ニ贊成スル者デアリマスガ、先程申シマシタヤウニ、唯二項ニ至ツテ非常ナコトガ起ルヤウニ考ヘマシテ、此ノ點ニ大イナル疑ヲ持ツテ居ルノデアリマスルガ、此ノ立法ノ持ツ御趣旨ヲ考ヘマス、此ノ二項ノ規定ハ所謂民法ノ即時所得ニ關スル規定デアリマス、是ハ皆サン御承知ノコトト思ヒマス、是ハ敢テ講義ガマシイコトヲ申スノハ失禮デアリマスガ、民法第百九十二條、第百九十四條ノ規定ハ即チ動產ノ即時所得ノ規定デアリマシテ、善意無過失デ動產ノ上ニ存スル或權利、マア所有權ダケト考ヘテ宜シイノデゴザイマス、其ノ所有權ヲ取得スル、而シテ其ノ占有ヲ始メタ時ニハ公然且平穩ニヤツタト云フ時ニハ、例ヘバ讓受ケタトシテ、其ノ讓渡人ガ自分ノモノデナカッタ、或ハ讓渡シ得ナイモノヲ讓渡

シタト云フヤウナコトガ概ガアリマシ
テモ、詰リ契約ノ效果トシテハ其ノ所
有權ノ取得ガ出來ナイ時デアリマシ
モ、苟クモ只今述ベタヤウナ條件ヲ備
ヘテ動産ノ占有ヲ得マスレバ其ノ所有
權ヲ取得シテシマフ、若シソレガ盜品
デアル場合ニハ二年内ニ元ノ所有者ガ
取戻シヲ請求出來ルガ、但シソレハ公
ノ市場又ハ其ノ種ノ商人カラ買ツタモ
ノデアリマス、其ノ時ニ拂ツタ代
金ダケハ持ツテ來ナケレバ返サナイデ
宜シト云フコトニナツテ居ルノデア
リマス、ソコデ財團目錄ノ調製ニ當リ
マシテ、一括シテ表示シテアルニ過ギ
ナイ、從ツテ其處ニハ果シテ屬シテ居
ルカドウカト云フコトハ到底分ラヌヤ
ウナコトガ生ズル、マアドウ云フ一括
ニ是ガナルカ、是ハ勅令デオ決メニナル
ノダカラ分リマセヌガ、例ヘバ發動機
ガ何十箇トカ何トカ云フヤウナコトデ
書イテアルト、果シテ其ノ中ニ屬シテ
居ルカドウカト云フコトハ的確ニ分リ
得マセヌ、分ラヌコトニナルカラ、仍
テ只今述ベタ動産即時取得ノ規定ヲ之
ニ全面的ニ適用ヲ致シマシテ、以テ其
ノ抵當權ヲ、其ノ場合ニハ抵當權ノ効
力ヲ廢除シヨウト云フ意味デ此ノ第
二項ガ出來テ居ルト思フノデアリマス、
デ抵當權ノ效力ハ財團ノ中ニ入リマス
以上、其ノ個々ノモノニ及ブノデアリ
マス、併シテナガラ斯ウ云フ精
細ニ書イテナイヤウナモノニ付テ迄、
抵當權ガ常ニ及ブト云フコトニナツテ
ハ、第三者ノ保護ハ缺ケルコトニナル
カラ、ソレハ困ル、仍ツテ即時取得ノ規
定ヲ全面的ニ適用ヲ致シマシテ、以テ即
時取得ノ適用ニ依ツテ第三者ガ所有權
ヲ得タヤウナ場合ニハ、此ノ抵當權ヲ
以テ其ノモノニハ對抗出來ナイ、假令

財團ヲ處分スルヤウナコトガアリマシ
テモ抵當權ヲ以テ對抗ハ出來ナイ、從
ツテ完全ナル所有權ヲ其ノ人ハ得テシ
マフト云フコトニシナケレバナラヌト
云フ趣意デ、此ノ第二項ノ規定ガ出來テ
居ルト思フノデアリマス、此ノ點ハ、殆
ド疑ノナイ所ト思ヒマス、又政府委員
カラ御説明ガアツタ時ニモ、サウ云フ
ヤウニ伺ツタヤウニ思フノデアリマス
ガ、唯今ノ爲サウデアアツタカドウカト
云フコトヲ一言伺ツテ置キタイト思ヒ
マスガ、如何デセウカ

○政府委員(追水久常君) 第十五條第
二項ノ立法ノ生立チマシタ理由、斯ウ
云フ規定ヲ設ケマシタ理由ハ、只今松
本先生ノ仰セラレマシタ通りデアリマ
ス

○松本泰治君 左様ニ私ハ信ジテ居リ
マス、其ノコト自體ハ大變結構ダ、サ
ウナケレバナラヌ、一括表示位ニナツ
テ居ルモノニ付テ何時迄モ抵當權ガ付
纏ツテ行クト云フコトニナリマシテハ、
動産ノ取引ノ安全ハ妨ゲラレマスカラ、
ソレデサウ云フ場合ハ苟クモ、即時取
得ノ規定ガ適用ガアル場合ニハ其ノ方
ガ勝ツノダ、サウシテ抵當權ヲ排斥ス
ルノダト云フ意味デ立法サレテ居ル其
ノ趣旨ハ私ハ贊成スルノデアリマス、
サウナケレバナラヌト思ヒマス、唯茲
ニ非常ニ困ツタコトガアルノハ何ダラ
ウト云フ、此ノ規定ノ文言自體ガ大
變ナコトヲ生ズルノデアリマス、ソレ
ハドウ云フコトデアアルカト申シマス
ト、此ノ第二項ノ規定ハ、民法ノ即時
取得ニ關スル規定ヲ、只今ノヤウナ物
件ガ第三者ニ引渡サレタル場合ニ之ヲ
準用スルアルノデアリマス、其ノ準用
スト云フハドウ云フコトカト云フト、
適用ノナイモノニ外ノ規定ヲ持ツテ來

テ適用スルト云フノガ即チ準用スデア
リマス、茲ニ於テ申上ゲナケレバナラ
ヌノハ、從來ノ何億カ何十億ト云フ存
在シテ居リマス工場財團、鐵道財團等ハ
是ハ皆財團目錄ニ記載スルコトニ依ツ
テ出來テ居リマス、又今後雖モ此ノ
特別ニ依ラザルモノハ勿論是カラモ
來得ル、ソコデサウ云フ此ノ一項ノ特
則、第一項ノ特別ニ依ラザルモノ、詰
リ當リ前ノ其ノ財團目錄ニ記載ノアル
場合ニ付テハ一體ドウナルカ、民法ノ
即時取得ノ規定ハ適用ガナイノカドウ
カト云フコトガ大ナル問題デアリマス、
是等ノ法律ヲ能ク精査シテ見マシテ、
ドウモ適用ヲ除外シテ居ルヤウナ規定
等ハ一ツモアリマセヌ、併シナガラ適
用ノアルト云フコトヲ示シテ居ルヤウ
ナ規定モ亦ナイ、從ツテ從來ノ物、又
ハ本則ノ物、即チ財團目錄ニチヤント
載ツタルヤウナ場合ニ於テハ、其ノ目
録ニ載ツテ居ルモノノ動産ニ付テ民法
ノ即時取得ノ規定ガ一體適用ガアル
カナイノカト云フハ確カニ一ツノ疑
ニナルノデアリマス、之ヲ肯定シテ居
ル規定モナシ、否定シテ居ル規定モナ
イ、此ノ案ガ若シ此ノ儘通りマシタナ
ラバサウ云フモノハ適用ガナイノダト
云フコトニナルノデアリマス、何トナ
レバ適用ガナイカラ是デ準用スト言ツ
テ居ル、此ノ場合ダケハ是デ準用スル、
サウスルト軍需金融以外一括表示デナ
イモノハ即時取得ノ民法ノ規定ハ適用
ガナイト云フコトニナル、此ノ法律ガ
若シ此ノ儘出マシタナラバ、所謂立法
的解釋ノ規定ニ是ガナリマシテ、民
法ノ即時取得ニ關スル規定ハ財團目錄
ニ書イテアル、財團財產ニ對シテハ適
用ガナイノダト云フコトニ當然解釋サ
レルコトニナリマス、ソレガ果シテ正

シイカト云フカ、サウナツテ宜イカト
云フコトガ大ナル疑問デアリマス、私
ノ解スル所ニ依リマス、工場財團其
ノ他ニ關シマスル大體總テノ規定ヲ檢
討致シテ見マシタケレドモ、即時取得
ノ規定ガ適用ガナイノダト云フヤウナ
コトヲ示スベキ條項ガ一ツモナイ、之
ガ若シ適用ガナイナツタラ一體ドウ
云フ結果ガ生ズルカ、大變ナコトニ私
ハナルト思フ、財團目錄ニ記載アリ、
或財團ヲ構成シテ居ツタ所ノモノガ紛
レ出テ、世間ニハ澤山アル、現ニアル、
是カラモアリ得ル、澤山アル譯デアリ
マス、殊ニ此ノ頃工員ナドガ相當非行
ヲ爲シテ、工場ノ物ヲ持チ出スト云フ
コトモアリ得ル、ソシナコトデ世間ニ
計算器、發動機ト云フモノハ既ニ私ハ
澤山出テ居ルト思フ、若シ民法ノ即時取
得ニ關スル規定ガナイトシタナラバ、
サウ云フヤウナモノハ所有權ノ取得ハ
出來テ居ナカツタト云フコトニナリマ
ス、幾ラ善意デ本當ニ大丈夫ナ商賣人
カラ買ツタ物デアツテモ、ソシナコト
ヲ言ツテモ駄目ダ、是ハ民法ノ即時取
得ニ關スル規定ニナリ財產ナンダカラ
讓渡ノ出來ナイ財產ヲ前ハ買ツタノ
返ヘサナケレバナラナイト云フ結果ニ
ナリマス、是ハ實ニ恐ルベキコトニナル、
動産ノ取引ノ安全ハ全ク缺ケテシマフ、
苟クモ工場財團其ノ他ノ財團ノ組成財
產ニナリサウナ財產ハ、着物トカ何トカ
云フモノハ宜イデゴザイマセウガ、サウ
云フモノニナル物ガ殆ドナリ得ル、又
現ニナツテ居ル、サウ云フ物ハ皆危イ、
事ニ依ルト是ハドウモツツカノ財團目
録ニ載ツテ居ツタ物カモ知レナイ、ソレ
ガ紛レ込シテ來テ買ツタ物カモ知レナ
イ、イツ取戻サレルカ、只デ持ツテ行カ

レルカ分ラナイト云フコトニナツタラ
大變ナコトニナリマス、サウ云フ動産
ニ付テノ取引ノ安全ハ全ク缺ケテシマ
フ、サウ云フ解釋ヲ採ルベカラザルコ
トハモウ常識カラ申シテモ明カデア
ル、所謂合目ノ性カラ考ヘテモ、條理カ
ラ考ヘテモ、サウ云フ解釋ヲ採ルベカ
ラザルコトハ餘リニモ明カデアアルト思
フ、然ラバドウ云フヤウニ解釋スベキ
カト申シマス、私ノ信ズル所ニ依リ
マス、此ノ即時取得ノ規定ハ、勿論
規定ハアルノデアリマス、適用ハアル
ケレドモ、一方ニ於テ抵當權ノ效力モ
アルノダ、兩方ガ存在スル、即チ抵當
權ノ效力ヲ無クスト云フ規定ハ、此ノ
規定ハ其ノ積リデ出來テ居ル、サウ云
フ無クストハ別デアアルガ、無クストモ
何トモ書イテナイ場合、即チ財團目錄
ニ記載ノアル財產ニ付テハ一方ニ於テ
即時取得ニ依ツテ所有權ハ取得出來ル、
ケレドモ、併シ抵當權ノ效力ヲ否認ス
ル譯ニハイカヌ、何トナレバ抵當權ハ
物權デアアル、其ノ效力ノ働キデアル、
ソレヲスツカリ取ツテシマフト云フ規
定ガナイ以上抵當權ノ效力ハ否認出來
ナイ、其ノ結果ドウ云フコトニナルカ
ト申シマス、例ヘバ工場財團デア
トスレバ、其ノ工場財團ノ競賣スルト
カ、或ハ賣却スル、即チ抵當權ノ作用
ニ依ツテ其ノ工場財團ヲ處分シマシタ
時ニハ、其ノ組成シテ居ル一ツノ物ヲ
即時取得ニ依ツテ所得シタ人ハ、其ノ
處分ニ對シテハ異議ハ言ヘナイ、抵當
權ノ働キダ、併シナガラ自分ガ矢張り
所有者ダ、仍テ丁度所謂物上保護人ト
云フヤウナモノノ地位ニ立ツ、物上保
證人ト申シマス、私ガ第三者ノ債務
ノ爲ニ私ノ財產ヲ擔保ニ供スルト云フ
コトニナリマス、私ハ所謂物上保護

證人ト云フヤウナモノノ地位ニ立ツ、物上保
證人ト申シマス、私ガ第三者ノ債務
ノ爲ニ私ノ財產ヲ擔保ニ供スルト云フ
コトニナリマス、私ハ所謂物上保護

證人ト云フヤウナモノノ地位ニ立ツ、物上保
證人ト申シマス、私ガ第三者ノ債務
ノ爲ニ私ノ財產ヲ擔保ニ供スルト云フ
コトニナリマス、私ハ所謂物上保護

證人ト云フヤウナモノノ地位ニ立ツ、物上保
證人ト申シマス、私ガ第三者ノ債務
ノ爲ニ私ノ財產ヲ擔保ニ供スルト云フ
コトニナリマス、私ハ所謂物上保護

人ト言ハレテ居ルモノデアリマス、其ノ物ハ自分ノ物デアアル、併シナガラ擔保ニハ他人ノ爲ニ供シテアル、其ノ結果此ノ他人ノ債權者ガ其ノ擔保物ヲ處分デモサレ、バ、ソレハ異議ハナイ、仕方ガナイ、併シナガラ私ハ拒否權ヲ持ツテ居ル、強イ拒否權ヲ特ニ與ヘラレテ持ツテ居ル、先ヅ其ノ債務者自身ガ財産ガアル以上大丈夫ナ拒否權ヲ持ツ、サウ云フ地位ニアルコトニナルンダト私ハ解スル、ソレデハ今後併シ隨分危クナイカ、サツキオ前ハ若シ此ノ即時取得ノ規定ガ適用ガナイト危イ、サウ云フコトガアツテモ危クナイカト云フ御疑ヲ御起シニナルト思ヒマスガ、ソレハ大體危クナイ、何トナレバ殆ト此ノ財團ガ抵當權ノ作用トシテ處分サレルト云フヤウナコトハ非常ニ稀有ナコトナノデアリマス、日本ニ於テハ左様ナゴトガ行ハレタコトハ私共餘リ承知シナイ、小サイモノニハ或ハアルノダラウト思ヒマス、私共ノ承知スルヤウナ財團ニ付テハ殆トサウ云フコトハ聞イタコトハアリマセス、是ハ擔保ニ取ツテ居レバ宜シイノデス、ソレヲ處分スル所迄ハ行カナイデ済ムノデス、又此ノ處分ニ假令至リマシテモ、其ノ處分ハ非常ニ金ガ餘ルヤウナ處分ニナリマス、何トナレバ財團ノ擔保デ貸サレテ居ル金ト云フモノハ財團ノ値打ニ較ベルト非常ニ少イ、決シテ其ノ財團ノ値打ノ全部ヲ貸サナイコトハ是ハ申ス迄モナイ、ノミナラズ先程述べマシタヤウニ「アメリカ」ヤ何カノ流儀デヤリマス、非常ニ餘計ナ財團迄抵當ニ入レサセマスカラ、ソレデ貸シテ居ル金ト較ベマスト、貸シテ居ル金ガ十分ノ一ニモナラヌト云フ例ガ寧ロ多イ位、仍テ若シ處分ニナツテモ非常ナ餘リガ出

テ來ル、其ノ餘リニ對シテハ今ノ即時取得ニ依ツテ取得シタ所ノ人ハ直チニ其ノ餘リカラ返済ヲ受ケル、所謂代位ノ規定ニ依リマシテ、丁度抵當權者ト同ジヤウニ見ラレル、ダカラシテ其ノ結果トシテ善意ノ第三取得者ガ損ヲスルコトハ殆ト考ヘラレマセス、即チサウ云フ此ノ財團ノ處分ト云フコトガ殆ト行ハレナイノミナラズ、行ハレテモ大丈夫金ヲ返シテ貰ヘルノデアリマスカラ、ソレデ動産ノ第三取得者ハ先ヅ以テ損ヲスル處ハ少イ、サウ云フコトデアリマスノミナラズ、更ニ實際カラ申シマス、抵當權設定契約ニ於キマシテハ色々ノ條項ガアリマシテ、抵當權者ハ始終検査ヲシ得ルヤウニナツテ居リマス、サウデナレバ危イノデス、此ノ検査ハ日本ノ情實カラ申スト、日本ノ銀行其ノ他ノ如キハ餘リ之ヲ致サヌヤウデアアル、何故シナイカト云ヘバ、ソレハ債務者ヲ信用スルカラ、事業者ノ會社ヲ信用シテ餘リシナイコトガ通常デアリマスガ、契約デハ何時デモ能ク見テ、苟クモ足りナクナツテ居タラ直グト之ヲ補ハスト云ツタヤウナ規定ガチヤントアリマス、而シテ外貨債ノ場合ノ如キハ外國ノ債權者ハ非常ニツレヲ勵行シテ、毎年一、二回必ズ検査ヲスルヤウナコトヲヤツテ居リマス、ダカラシテ抵當權者ハ此ノ即時取得ノ規定ノ適用ガアツテモ損ヲスルコトハ、自分デ注意ヲシテ居サヘスレバ先ヅナイ譯デス、ノミナラズ效力ガ及ブノダカラ、行先サヘ分ツテ居レバ效力ヲ及スコトサヘ出來ルト云フコトニナリ、而シテ取得者ノ方ハ只今述べマシタヤウニ又極メテ安全、兩方トモソレデ保護サレル、言葉ヲ換ヘテ申セバ私ノ解スル所ニ依リマスト、從來ノ財團

目録ニ記載ナル財團ニ付キマシテハ即時取得ノ規定ハ適用ハアル、併シ抵當權ノ效力迄ヲ廢除スル迄ニ至ラズ、詰リ全面的ノ適用ハ少シ其處ヘ覆ツカブサツタヤウナモノガアルト云フコトニナル、斯クノ如クニシテ一般ノ動産ノ取引ノ安全モ今後十分ニ保持サレマスルト同時ニ、抵當權者ノ保護モサレテ宜シイノデアリマス、斯クノ如キコトガ從來ノ財團抵當ニ關シマスル主法規ノ正當ナル解釋デアルト私ハ確信シテ居ルモノデアリマス、加之當テ四十年前モ前ニ當院デ立法當時ニ委員會デ色々議論モサレテ居リマスモノヲ見マスト、實ニ精密ナル議論ガアリマシテ質疑應答驚クベキモノガ速記録ニ存シテ居ルヤウデアリマス、之ヲ見マスルト實ハナカノノ分リニクイ、惡クスレバ讀ミ違ヘル處ガアルト思ヒマスガ、私ノ見タ所デハ、私ノ今申シタト同ジ解釋ニ畢竟スルニ政府委員ノ答辯等ハナツテ居ルヤウニ私ハ解シテ居リマス、假リニ私ノ見損ヒデアツテ當時ハサウ云フヤウニ答辯等ガ出來テナカツタトシテモ、只今申シマシタヤウニ私ノ見ルヤウニ解釋ヲシナケレバナラヌコトハ事理ノ當然デアツテ殆ト明瞭ダト私ハ考ヘテ居ル、然ルニ先程述べマシタヤウニ、若シ此ノ案ガ此ノ儘トシマス、即時取得ニ關スル規定ハ財團目録ニ記載ナル財團ニ付テハ適用ガナイト云フコトニナル、適用ガナイガ故ニ此ノ一括ノ奴ダケニ特ニ準用シヨウト云フコトニ是ハナル、此ノ財團ダケニ付テハ宜シウゴザイマス、軍需金融ノ此ノ規定ニ依ツテヤツタモノダケニ付テハ、準用スデモ何デモ結構デアリマセウ、從來ノ數十億ノ財團ニ屬シテ居ツタ所ノモノ、又從來モサウ云フモノ

ガ出テ來ル譯デアリマス、サウ云フヤウナモノニ屬シテ居ツタ所ノ財團目録ニ記載ナル所ノモノニ付テハ、即時取得ノ規定ハ全部適用ハナイ、立法ニ依リ解釋ガ決ツテシマフコトハ明瞭ナコトニナル、サウナツテハ動産ノ取扱ノ安全ハ全然保タレナイ、是ハ大變ナコトデアリマシテ、左様ナ大變ナコトガ生ズルト云フヤウナコトニハ御考ニナラズニ立法ニナツタト思ヒマスガ、素地ガ其ノ宜シキヲ得ナカツタ爲ニサウ云フヤウナ重大ナル結果ヲ生ズルト私ハ思フノデアリマス、此ノ點ニ對シテ若シ御前ノ言フコトハ間違ヒデ、斯ウ云フコトダト云フヤウナコトガアレバ勿論サウ云フ御說明ヲ伺ヒタイノデスガ、實ハ種々私モ相當調査ヲ致シマシテ、ドウシテモ私ノ申シテ居ルコトガ間違ツテ居ラヌヤウデス、又サウデナケレバ私ノ申スヤウニ解サレナケレバ、即チ即時取得ニ關スル民法ノ規定ハ、矢張り財團目録ノ記載ナルモノニモ適用ガアル、唯抵當權ノ效力ダケハ受ケテ行クノダト云フコトニ解サレナケレバ、取引ノ安全ハ全ク缺ケテシマフコトニナル、其ノ一事ヲ以テ私ハサウ解スベキコトハ餘リニモ明カナヤウニ考ヘルノデアリマス、此ノ點ニ付キマシテ若シ間違ツテ居ルト云フコトガアレバ、勿論政府委員其ノ他ノ御考ヲ伺ヒタイノデス、是ハ只今ハ伺ハヌデモ宜シイカト實ハ考ヘテ居リマス、ソコデ私ハ是ハドウシタラ宜イカト云ヒマス、此ノ趣旨ヲ極メテ簡單ナル修正ニ依ツテ現シ得ル、何デモナイコトダト實ハ思ツテ居ル、是ハ私只今修正案ノ提案ヲ致ス趣意デハゴザイマセヌガ、併シナガラ只今私ノ述べタヤウナ趣旨ヲ表ハスニハドウシタラ宜イノカ、ト云フ

コトノ意見ダケヲ此ノ際ニ申述ベサシテ載キマス、私ノ考デハ只今私ノ述べタヤウナ趣旨ヲ表ハサウト思ヘバ、第二項ヲ斯ウ改メレバ宜シイノデ、「工場抵當法第五條ノ規定ハ前項ノ規定ニ依リ同項ノ財團目録ニ一括表示セラレタル物件ニ付テハ準用スル」ト何字位ヲ改メレバ宜シイ、サウスレバ私ノ申シタ趣意ニナルト思ヒマス、ソレハドウ云フコトカト申シマス、工場抵當法第五條ト云フノハ、我々ハ之ヲ簡易工場抵當ト云フヤウナ名前ヲ附ケテ居リマス、是ハ本當ノ工場財團デハナイ、併シナガラ工場ノ所有者、工場ノ土地トカ或ハ建物ノ所有者ガ、工場ニ抵當ヲ附ケマシテ、サウスルト當然其ノ工場ノ中ニ据附ケタ機械、器具等ニハ、其ノ抵當權ノ效力ガ及ブト云フ規定ガアル、財團設定ノヤウナエライ面倒ナコトヲシマセヌデ、小サイ工場ヤ何カ大變ナ面倒ナコトヲスル程ノモノデナイカラ、ソレニ依ツテ簡單ニヤツテシマフ、サウスルト工場ノ中ニ据附ケタモノナカニハ當然抵當權ノ效力ガ及ブコトニナル、之ヲ稱シテ法律ニハ書イテゴザイマセヌガ、私等ハ簡易工場抵當ト云ツテ居リマス、其ノ簡易工場抵當ノ場合ニハ、其處ノ工場ニア物ト云フモノハ、目錄ハ作ルコトハ作ツテアリマスケレドモ、是ハ作リ方ヲナカガ極メテ簡易ナコトニナツテ居ルカラ、ソレニ付テハ工場抵當法第五條ニ規定ガアリマシテ、其ノ規定ハ詰リドウ云フコトカト云フ、抵當權ノ效力ハ、サウ云フ中ニアツタ物件ガ第三者ニ引渡サレタル場合ニモ其處迄及ンデ行クト云フコトヲ第一項ニ書イテ、第二項ハ、併シナガラ民法第九百九十二條乃至第九百九十四條ノ規定ノ適用

ヲ妨ゲナイト書イテアリマス、當然適用サレバ、其ノ適用ヲ妨害ガ出来ナイト書イテアル、ダカラシテ詰リ抵當權ノ效力ハ普通ノ場合ズツト及ブンダガ、併シ即時取得ヲヤツタ者ガアルト全體ニ及バナイ、此ノ抵當權ノ效力ノ主張ハ全ク出来ナイ、對抗出来ナイ、サウ云フ規定ガアリマス、其ノ規定ノ文面ダケヲ見マスト多少疑ガアリマスガ、是ハ貴族院ノ當時ノ委員會ノ速記録等ヲ見マス、其ノコトハ明瞭ニ分ル、サウ云フヤウニ從來モ解セラレテ居ル、即チ繰返シテ申シマス、サウ云フ簡易工場抵當ノ場合ニハ、其ノ組成物ガ善意ノ第三者ノ手ニ入ツテ即時取得ニナツテシマフ、其ノ規定ガ絕對的、全面的ノ效力ヲ持ツテシマフ、抵當權ノ方ハ引込シマフ云フコトヲ書イテアル、幸ヒニサウ云フ規定ガアルノデスカラ、其ノ規定ヲ此處ニ準用サヘスレバ宜シ、其ノ規定ノヤウナコトヲ書キタイト云フ御趣意デアルト云フコトハ、先程ノ御答辯ニモアツタ通りデ、其ノ規定ヲ簡單ニ此處ニ準用サヘスレバ宜シ、サウナレバ其ノ結論トシテ財團目録ニ書イテアリマスルカラ、財産ニ付キマシテハ勿論適用ハアル、唯抵當權ノ效力モ生キテ居ルト云フコトニ反對解釋ハナルト云フコトニナツテ、私ノ申シタ通りノ結果ヲ得ルノデアリマス、私ハサウ云フヤウナ修正デモ致サヌト、此ノ法案ハ大變ナコトノ結果ヲ生ズル虞レガアルト云フコトヲ、憂慮ヲ實ハシテ居リマス、他日或ハ正規ノ御賛成ノ方デモ得マシタナラバ、討論ニ入リマシタ時、サウ云フ修正案ヲ私ハ出シタイト考ヘテ居リマス、若シ何等カノ差支等デ、其ノ時期ヲ失シテハ困リマス、私ノ考

ヘテ居ルコトヲ、皆様ノ御耳ニ達シマシタ、甚ダ御断リシマシタヤウニ、講義ガマシキコトヲ申上ゲテ甚ダ恐縮デゴザイマスガ、非常ニ錯綜シテ、實ニ實際ノ法律ノコトヲ能ク御承知ノ方ハ實ハ餘リ澤山ナイノデハナイカト考ヘマシテ、甚ダ諄イコトヲ申上ゲマシタ、此ノ點ハ幾度モ御記申上ゲマス、若シ私ノ申シタコトニ誤リガアル、分ラヌト云フコトゴザイマシタナラバ、妙ナコトデゴザイマスガ、サウ云フ御意見ガアツタラ、私が發言シマシテ御答ヲスルト云フノハヨカシイノデアリマスコトヲ致シタイノデアリマス、是ダケ申上ゲテ置キマス

○委員長(男爵廣安君) 只今ノ點ニ付キマシテ下ナカ御發言ガゴザイマス

○青木一男君 私チヨット一點伺ヒタイノデス、只今松本博士ノ御話ニ依リマス、工場財團法ノ規定ニ於テハ、工場抵當法ノ如キ特別ノ規定ガナイカラ、動産ノ即時取得ノ效力ハ發生スルガ、抵當權ノ附イタモノヲ取得スルノダト云フ風ニ伺ツタノデアリマス、工場財團法ノ規定シテ趣旨ハ、ソコニ一括シテ工場ノ管理下ニソレガ使用サレ運用サレテ居ツテ、抵當權ノ本當ノ效力ヲ發生スルデヤナイカト思フノデアリマスガ、其ノ場合ニ其ノ一部ノ財産ガ、當然他ノ第三者ノ手ニ渡ツテ所有サレテ居ル、管理サレテ居ルト云フヤウナコトデアリマスレバ、立法當時ニ於テモ、其ノ場合ニハ抵當權ノ管理ヲドウスルト云フヤウナ規定ガナケレバ、其ノ立法ノ趣旨ガ徹底シナイデヤナイカト私ハ思フノデアリマスガ、サウ云フ規定モナイノデアリマス、サウスルト其ノ當時ノ立法ノ文句ハ、不完全カモ知レ

マセヌガ、端的ニ例ヘバ取ラレタ物ガアレバ、缺ケテ居レバ新シイモノデ補充スルト云フノガ、抵當權設定ノ趣旨ニ合フノデアツテ、其ノ所有者ノ所迄追求シテ行ツテ抵當權ヲ得ルト云フノハ、經濟ノ實情カラ見ルト、立法ノ趣旨ニ合ハナイヤウニ私ハ考ヘルノデアリマスガ、其ノ點ハ如何デゴザイマセウ

○松本泰治君 政府委員デヤゴザイマセヌガ、便宜上御答ヘ致シテ置キマセウ、只今ノ青木君ノ御話ハ誠ニ御尤モデ、若シモ第三者ガ取得シタト云フコトニナル、併シ抵當權ハソコニ置クト云フコトニナルト、今仰シヤツタヤウニワカシイ、ワカシイガ抵當權ヲ及バスヤウナ場合ト云フモノハ、殆ド事實ハ生ジナイト云フコトデ、先程申シタ趣旨ニ於テハ、サウ云フコトハ殆ドナイノデ、抵當ハ設定契約ニ實ニ詳細ニ規定スルノガ常デアリマス、日本ノヤツテ居リマス所謂信託契約證書「インデントチュア」ト云フヤウナモノデモ、相當規定ヲ書イテ居ル、マア擔保ノ場合、擔保附社債ノ場合、外國ノモノナゾハ大變ナモノデ、百頁モアルヤウナモノヲ書イテアル、非常ニ精細ナコトヲ書イテ居ツテ檢査スル、或ハ檢査ラセズトモ、ナイヤウナ時ハ勿論補充サスヤウナコトニシテアリマス、其ノ結果トシテ補充サレルカラ、抵當權ノ效力ヲ尙追隨シテ及スナント云フ必要ハナイ、補充スル場合ニハ斯ウ云フヤリ方ヲスル、從來ノモノハ、誰カノ手ニ入ツテ居レバ、ソレヲ除ケテシマフ、詰リ財團カラ除ケテシマフ、「リリース」シテシマフ、サウシテ新シイ別ノモノヲ入レサスト云フコトニシテ居リマス、ダカラ「リリース」サレ、

バ抵當權ハ切レテシマフ、持ツテ居ル人ノ所迄行ク必要ハナイ、ダカラシテ抵當權ノ效力ガ及ブト云フコトノ實用ハ何處ニ在ルカト云ヘバ、餘リナイノデス、唯サウ云フ「リリース」トカナンカ云フコトデナク、工場主ガ非常ニ惡イ人デ、抵當ニ入レテ居ツタ色々ナ物ヲ皆賣ツテシマツテ、殆ド財産ハナクナツテシマフト云フヤウナコトニナツタ時ニ、直チニ期限ノ利益ヲ失ハシメテ、其ノ工場財團ヲ處分シナケレバナラス、サウ云フ時ニハ、抵當權ノ效力ガ及バナカッタラ、抵當權者ハ困ツテシマフ、サウ云フ極メテ稀ナ場合ニハ、抵當權ノ效力ガ及ブト云フコトノ實效ガアル、ソレニ依ツテ善意ノ取得者ト雖モ、抵當權ノ及ブコトダケハ否認出来ナイ、從ツテ賣ラレ、バ一緒ニ賣ラレテ行ク、但シ求償權ハ強イモノガアルト云フコトニナツテ、其ノ者ノ權利ハ保護サレル、之ニ反シテ、若シ即時取得ノ規定ノ適用ガナイト云フコトニナツタラ、全ク保護ナシ、如何ナル場合ト雖モ是ハ取り戻サレテシマツテ、何モナクナル、機械器具ノ如キ物ヲウツカリ持ツテ居ツテモ、アナタ方ガ持ツテイラツシヤル物デモ取戻サレルカモ知レナイト云フコトニナル、ソレハ困ルト云フノデ、私ハドウシテモ是ハ直サナケレバ行クマイト云フコトヲ申シタノデアリマス

○青木一男君 モウ一點序ニ伺ヒマス、民法百九十二條乃至百九十四條ノ規定ハ、民法ノ建前カラ非常ニ大事ナ規定デアルヤウニ私共モ承知シテ居リマスガ、實際問題トシテハ、動産ノ所有權ヲ取得ガ、法律上此ノ規定ノ根據ニ於テ取得サレルト云フ「ケース」ハ、今迄實際多カッタノデアリマセウカ、私共

ハ判例等ハ能ク知リマセヌガ、大多數ハ正當ナ買賣契約其ノ他ノ效力ニ依ツテ、實際取引ノ大部分ガソレデ始末サレテ居ルノデ、此ノ規定ヲ極ニ取ツテ所有權ガ保護サレタト云フヤウナコトハ餘リ聞カナイノデアリマスガ、實際取引ノ社會ニ相當アルモノデゴザイマセウカ

○松本泰治君 是ハ當然デアリマシテ、通常ノ場合ニハ、立派ナ所有者ガ他人ニ之ヲ譲リ渡ス、サウシテ他人ハソレヲ買ヒ受ケテ其ノ所有權ヲ移轉ヲ受ケタ、契約ノ效力トシテ所有權ヲ承繼シテ取得スルト云フコトガ勿論多イノデアリマスガ、併シ此ノ即時取得ノ規定ノ適用ハ相當アルソレハ即チ例ヘバ、コ、ニ或人ノ持ツテ居ル財産ノ權限ノナイ代理人ガ他人ニ賣ツテシマツタ、ソコデソレヲ賣主ハ否認スル、或ハ未成年者其ノ他ノ無能力者ガソレヲ處分ラシテシマツタ、ダカラソレハ取消セト云フコトデ、讓渡行爲ヲ取消シテシマフ、或ハ無能力者ノ親權者ガ親族會ノ同意ナシニ處分シタト云フヤウナコトデ、後デ取消サレルト云フコトニナリマス、若シ此ノ即時取得ノ規定ガナイト、何處迄行ツテソレヲ取得シタ物デモ、移轉ニ依ツテ得タ物デナイカラ取り戻スト云フコトニナル、サウ云フ「ケース」ハ相當多イ、詰リ即時取得ノ規定ノ適用ニ付テ爭ヒヲ生ジタ「ケース」ハ頗ル多イ、從ツテ裁判例等モ澤山アリマス、勿論其ノ數量ニ於テハ、正規ノ取引ニ依ツテ移轉場合ト即時取得ニ依ツテ移轉場合トノ數ヲ比較シタラ、是ハ問題ハナイト思ヒマス、併シサウ云フ「ケース」デ即時取得ノ規定ノ保護ヲ受ケル例ハ頗ル多イ、是レ即チ此ノ規定ガ非常ニ重要ナモノダ、ト云フコト

ヲ意味スルモノニ外ナラナイノデアリ
マス

○青木一男君 次ニモウ一點伺ヒマス、
是ハ立法論ノ問題ニナルノデスガ、寧
ロ見方ニ依ルト、第二項ノ規定ハ必要
ナクハナイカト云フヤウナ議論モ、或見
方カラ言ヘバ立法論トシテハ成立チ得
ルノデハナイカト思ヒマス、ソレハド
ウ云フコトカト云フト、今日軍需工場
等ヲ組成スル財産ガ、先程御話ガアツ
タヤウニ盗ミ出サレタ「ケース」ガ相當
アルヤウデス、此ノ構成財産ト云フモ
ノハ、我々國民生活ノ上ニサウ毎日毎
日賣買サレテ、ソレガ安全ヲ阻害サレ
ルト云フヤウナ種類ノモノデナク、特
定ノ業者ガ扱フ物品ガ多ウゴザイマス、
ソレデサウ云フ物ヲ買フ人ハ、大體正
當ナル所カラ買ツテヤルベキモノデア
リ、權限ノ分ラナイヤウナ所カラ買ツ
テヤルト云フコトハ、今日既ニ弊害ガ
アリ、其ノ反射作用トシテ盗ミ出スヤ
ウナ者ガ出テ來ルトモ見ラレルノデア
リマス、普段ナラバ契約自由、或ハ財
産ノ即時取得ノ規定ガ非常ニ大事デア
ルト云フコトモ、容易ニ考ヘ付クノデ
アリマスガ、今日軍需工場等ヲ構成ス
ル財産ニ付キマシテハ、サウ云フ規定
ガ寧ロ弊害ヲ成ス場合スラ想像サレル
ノデハナイカ、斯ウ云フ際ハ一般取引
ノ自由、安全ト云フコトヨリ、寧ロ
此ノ工場財産ガ取ラレタリシヤウナ
場合ヲ豫防スル爲ノ反對ノ規定ガ寧
ロ必要ヲ感ズル時期デハナイカ、ト云
フ考スヲ起キルノデアリマシテ、サウ
云フ見地カラスルト、第二項ノ規定ハ
寧ロイケンイト云フコトニナルノデス、
私ハサウ云フコトヲ主張スルノデハナ
イガ、サウ云フ主張スラ今日ハ立法論
トシテ成立ツノデハナイカ、ト云フ氣

ガスルノデアリマスガ、ソレハ少シ行
過ギデゴザイマセウカ

○松本泰治君 之ヲ削除シタ結果ハ、
サウ云フ結果ニハナリマス、寧ロ適用ガ
當然アルコトニナリマス、唯抵當權ト
兩方適用サレルト云フコトニナルノダ
カラ、削除シタ結果ハサウナリマセヌ、
青木君ノ言ハレルヤウニシヨウトスレ
バ、前項ノモノニハアレハ適用セズトシ
ナケレバイカヌ、ソレハ少シ行過ギ
ダト思フノデス、成程盗ミ出シタ物
ヲ直グ買フヤウナヤツハ、多クノ場合
ハ善意トハ言ヘマセヌ、ソレカラ盗品
デアル場合ニハ、其ノ種類ノ物ヲ取扱ツ
テ居ル商人、或ハ公ノ市場デ買ツタ場
合デナケレバ代金ノ辨濟ヲ受ケ得ナ
イ、ダカラシテ盗品ヲウツカリ買ツテ
モ、素性ノ知レヌヤウナ朝鮮人カラ發
動機ヲ買ツタト云フコトデハ即時取得
ノ利益ハ受ケ得ナイ、サウ云フ朝鮮人
カ何カガ持ツテ行ツテ、此ノ頃相當賣
ツテ居ルヤウデスガ、ソレガ轉々シテ
正當商人ノ手ニ入ツテソレカラ善意
デ買ツテ居ルト云フ場合ハ澤山アル、
サウ云フ人ヲ保護シナイト云フコトニ
ナツテハ大變ナコトニナリマスノデ、
保護タケハ是非シテ載キタイ、而シテ
保護シナイト云フ立法論ヲ假リニ取ツ
テ、ソレガ宜イトシタナラバ之ヲ削
除シタノデハイケンイ、適用セズト特
ニ書カナケレバナラス、斯クノ如キコ
トハ恐ラクハ出來マイト思ツテ居リマ
ス

○河田烈君 松本委員ノ御意見ヲ伺ツ
テ居リマス、斯ウ云フコトニナリマ
スカ、從來ノ詳細ナル財團目錄ヲ附テ
テ居タモノニ付テ、民法ノ即時取得ノ
效力外資ガドウ云フ風ニ影響スルカト云
フコトハ明文ニ書イテアルモノハナイノ
デアリマス、ソレハ當然民法ノ原則タル
所ノ即時取得ノ原則ハ適用スルモノト
云フコトニナツテ居ルガ、然ルニ準用
ストアルノハ適用ナイモノヲ準用スル
コトニナル、準用スト之ヲ此處ニ豫メ
書クト云フコトハ、却テ本來ハ適用
ガナイノダ、斯ウ云フ解釋ニナルカラ
ト云フ仰セト思ヒマスガ、其ノ明文ノ
規定ハナクテモ、サウ云フ場合ニ何カ
民法ノ即時取得ノ原則ハ、從來ノ詳細
ナル財團目錄ニ記シタルモノニ付テハ
適用ガアルモノデアルト云フ判例ガア
ルノデアリマスガ、サウ云フ判例ハナ
イノデアリマスガ

○松本泰治君 ドウモ今迄私ノ記憶シ
テ居ル所デハ、下級裁判所ナニカニハ
アルカモ知レマセヌガ、サウ云フ判例
ハナイヤウデアリマス、現ニナイカラ
コソ之ヲ書カレタ、是ハ之ヲ書カレタ
人ガ適用ガナイト思ツテ書カレタモノ
ト私ハ推測シテ居ル、詰リ適用ナイト
云フコトノ規定モナイ、デ讓渡シ出來
ナイト云フコトモ書イテアル、適用ガ
アルカナイカノ規定ガナクテ、讓渡ノ
出來ナイヤウニシテ居ル精神ナドカラ
考ヘルト、適用ハナイダラウト思フノ
モノツノ見方、唯其ノ解釋ノ結果ハ大
變ナコトニナルノデ、左様ナ解釋ヲ採ル
ベキモノデハナイト考ヘテ居ル、サウ
云フ多少ノ疑ノアル所ヘ持ツテ來テ、
斯ウ云フ準用スト云フコトニナツタカ
ラ、モウ適用ガナイト云フ解釋ヲ採ツ
タト云フコトニ當然ナリマス、所謂學
者ノ謂フ立法ニ依ル解釋ト云フモノニ
ナル、其ノ副作用ハ私ハ困ルト思フ、
是ガ出來タ御趣旨ハ全部結構デ其ノ通
リニシテ置キタイ、併シ斯ウシテ置ク
ト大變ナ副作用ガ出テ來ル、良イオ藥
ノ積リデ御指ヘニナツタモノガ大勢ノ

人ノ命ヲ取ツテシマフヤウナ毒ニナツ
テシマフ、ドウシテモ其ノ毒ニナラヌ
ヤウニ直シテ戴キタイト云フノガ私ノ
考デアリマス

○河田烈君 サウシマス從來ノ詳細
ナル財團目錄ニ記シタル財團ノ場合ニ
於テハ、民法ノ即時取得ノ原則ハ適用
ガナイト云フ疑モアルト云フコトヲ伺
ツタデスガ、是ハ動産ノ移動ニ付テ、
斯ウ云フ解釋ヲスルト非常ナ取引上ノ不
安ヲ生ズルカラ、松本委員ノ御考通リ
ソレハ當然適用ガアルモノト云フ解釋
ヲ前提トシテ、是ハ法ノ解釋上サウ云フ
コトヲ前提トシテ宜イカドウカト云フ
コトハ分リマセヌ、私ハ不案内デアリマ
スケレドモ立法ノ書キ方ニ依ツテハ念
ノ爲ノ規定ト云フモノモアルノデアツ
テ、詳細ナル財團目錄ニ記シタル所ノ
財團ニ付テハ、當然民法ノ即時取得ノ
適用ガアルト云フコトヲ前提ニシテ置
ク、但シソレガ包括的ナルガ故ニ疑問
ヲ生ズルトイケンイカラ一項ヲ設ケタ、
時ニアラズモガナト云フコトモアル、
一方ニハ其ノ反對ノ規定モアルガ、又
一方ニハ念ノ爲ノ規定ト云フモノモア
ル、其ノ念ノ爲ノ規定ト云フ解釋ハ出
來マセヌカ

○松本泰治君 ソレハ、適用ヲ妨ゲズ
ナラ宜シイノデアリマスケレドモ、併
シ準用スト云フノハ、適用ガナイカラ
態、準用スト云フノデ、本來ハ適用ガ
ナイノヲ此ノ規定デ準用スルノダト云
フコトニナル、サウスルト其ノ規定デ
ヤツテ居ル範圍内ノモノハ適用ガナイ
ト云フコトニ解釋ガナル、是ハ行政ノ
手心デオヤリニナツテモ裁判所ガ言フ
コトヲ肯キマセヌ、而シテ一般ニ適用
ガナイト云フヤウニ解釋スルコトモ無
理カラヌ點ハアル、實際ヲ知ラナイ方

ハサウ云フ解釋ヲ或ハ取ルカモ知レナ
イ處ガ非常ニアルノデス、何トナレバ
財團目錄ニ書イテアルモノハ讓渡スコ
トヲ得ナイト云フヤウナコトヲ法律ガ
書イテアル、一體通常ノ場合ニ於テ即
時取得ノ規定ガ働ク時ニハ、其ノモノ
ニ存シテ居ル總テノ權利ヲ排斥シテシ
マフノガ當リ前デアル、ダカラ抵當權
ノ効力ガ及ブ狀態ニ於テ取得スルナン
ト云フ觀念ハ、是ハ異例デス、ソコデ
サウ云フ異例ト云フコトハチヨツト考
ヘ及バナイ、私ハ適用ノナイト云フ考
ヘ方ヲ以テ或ハ斯ウ云フ原案ヲ御作リ
ニナツタカモ知レヌト思ハレル方ヲ、
實ハ私ハ十分ニ非難スルコトハ出來ナ
イ位、サウ云フ疑ハ確ニ生ジ得ルノダ、
サウ云フ御考デ斯ウ云フモノハ出來タ
ノダラウト思ヒマスケレドモ、是ハ唯
實際ハ大變ナコトニナル、能ク考ヘル
ト大變ナコトダト云フコトダハ、考
ヘ直サレト分ルダラウト實ハ思ツテ
居ル次第デアリマス

○委員長(男爵東郷安君) 如何デアリ
マスガ、松本委員ノ御説モ能ク伺ヒマ
シタガ、此ノ事ハ此ノ程度デ尙皆樣ノ
御研究ヲ願フコトニシテ、他ノ議案ニ
移リタイト思ヒマスガ如何デスカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○委員長(男爵東郷安君) 御異議ナ
イト認メマス、ソレデハ昨日ノ質疑ニ續
キマシテ、生命保險中央會ノ議案ニ戻
リマス、之ニ關スル御質問ヲ願ヒタイ
ト思ヒマス

○松本泰治君 甚ダ喋ツテバカリ居リ
マシテ相濟ミマセヌガ、此ノ議案ハ相
當大キナ法律デアリマシテ、細カク考
ヘマスト色々伺ハナケレバナラヌコト
ガ生ジマスガ、私ハ大體ニ於テ差障リ
ナイヤウニ規定ガ出來テ居ルト思ヒマ

スノデ、今細カイ點ヲ伺フ考ハゴザイ
マセヌガ、唯昨日ノ御説明デモ最モ重
要ナル點ハ即チ第二十六條デアル、第
二十六條ヲ作ル爲ニマア此ノ法律ヲ拵
ヘタヤウナモノダト云フヤウナ大體御
説明デアッタ、其ノ最モ大切ナル二十
六條ニ付キマシテ、唯一言自分ノ考
述ベマシテ政府ノ御意見ヲ伺ヒ得レバ
伺ヒタイノデアリマス、昨日モ色々御
説明ガアリマシタヤウニ、保險會社ノ
從來ノ約款ノ規定ト云フモノハ、戰爭
危險ニ依ル支拂ハシナイト云フコトニ
通常ナツテ居リマス、少シバカリノ例
外ハアリマスガ、慥カ私ノ記憶デハ大
部分ハ默ツテ居テハ戰爭危險ノ保險金
ノ支拂ハシナイコトニシテ居リマスガ、
然ルニモ拘ラズ、昨日モ御説明ガアツ
タノデスガ、確カ其ノ政策上ト云フヤ
ウナ御言葉ガアツタカト思ヒマスガ、政
策上各保險會社ハ全額支拂ヲ現ニシテ
居ルト云フコトノ御説明ガアツタと思
ヒマスガ、一體約款ニ反シテ支拂サレテ
居ツタコトハ、嚴格ニ申スト私ハ非常ニ
宜クナイコトデアッタと思フノデス、一
體此ノ保險ト云フモノノ性質ハ、保險會
社ト保險契約者ノ間ノ單純ナル契約ト
云フ觀念デハナイ、如何ナル保險デアリ
マシテモ或總テノ事業者ト關係ヲシテ
居ル保險契約者全體ガ、互ニ保險ヲ
仕合フヤウナ觀念デアル、非常ナ大キ
ナ保險契約者ノ團體ガ集リマシテ、サ
ウシテ保險ト云フコトノ仕事ガ行ハレ
テ居ル、仍チ此ノ約款ト云フモノハ、
保險會社ガ勝手ニ權利ノナイ人ニ拂ッ
テモ宜イト云フヤウナ一體性質ノモ
ノデヤナイ、約款上拂ヒ得ナイモノヲ
保險會社ガ勝手ニ拂フト云フコトハ、
嚴格ニ申セバ責任ノ觀念ニナリマス、
詰リ其ノ結果他ノ保險契約者ハ非常ナ

危險ナ地位ニ立ツ、拂ツテハナラヌト
ハ書イテナイニシツ、拂ハヌデモ宜イ
ト書イタルモノヲドシ、拂ツテ行
クト云フコトノ結果ハ、拂ハレル者ハ
宜イカモ知レヌガ、殘ツタ人ニハ非常
ナ危險ナコトニナル、戰爭危險ト云フ
モノヲ勘定ニ入レナイデ保險料ヲ決メ、
總テノ仕事ガ經營サレテ居ルニモ拘ラ
ズ、ソレヲ契約上拂ハナイデ宜シイモ
ノヲ拂フツテ云フコトハ、他ノ人ニ對シ
テハ非常ナ惡イコトダ、私ハソレハ嚴
格ニ意味デ申シマス、併シソレハ實
際昨日モ御話ガアツタヤウニ、今迄全
額拂ツテ居リマシタ、政策上ト云ハレ
マシタ、政策上ト云ハレマシタ、多ク
ハ是ハ他ノ壓迫デアッタト私ハ思フ、相當
壓迫ガアツタと思フ、ソレハ何處ノ壓迫
ト云フヤウナコトヲ必ズシモ言フ必要モ
ナイデセウ、是ハバドモ餘リ面白イモ
トデ私ハカウツタト實ハ考ヘテ居リマ
ス、然シ其ノコトヲ今更政變シヨウトモ
思ヒマセヌ、ソレハ濟シタコトデアリ
マス、此ノ立法ニ依リマシテ、寧ロ約
款ニドシナコトガ書イテアツテモ拂ハ
スノダ、ト云フコトニ立法シヨウト云
フ、是ハ今迄サウ拂ツテ居タ以上斯ワ
云フ立法デモ爲サルコトモ、是モ私ハ宜
イト思フ、已ムヲ得ヌコトト思フ、今
更拂ハナイト云フヤウナコトヲ言ツテ
モ大變ニ唯紛爭ヲ生ズルニ過ギナイ、ソ
レハ出來マセヌカ今迄通り拂ハス、寧
ロ此ノ法律ノ規則ノ規定ニ依ツテ拂フコ
トニサセテシマス、殊ニ此ノ命令ノ内容
ニ付キマシテ書イタル所ヲ拜見シマ
スト、從來ノモノニ付テハ全額拂ハス
コトニシヨウト書イタルヤウニ思ヒ
マシタ、ソレハ私ハ立法トシテハ御尤
モダト思フ、唯茲ニ大イニ懸念シナク

チヤナラヌコトハ、此ノ法案ニ依リマ
シテ再保險ヲシテヤル、サウシテ再保
險デ大キナ損失デモ出タラ、是ハ國家
ガ補償シテシマフト云フコトデ、詰リ
要スルニ國家ガ責任ツテヤツテ再保險
ヲシテヤラフ、其ノ代リ何ト約款ニ書
イテアツテモ拂ハシテシマフノデ、是
ハソレニ依ツテ紛爭ヲ避ケルノデ私ハ
非常ニ結構ナコトト思フ、此ノ立法自
體ハ大變ニ結構ダト思ヒマス、唯運用
ニ付テ私ハ考ヘナケレバナラヌト思フ
コトガアル、ソレハ何デアアルカト申シ
マス、此ノ再保險料ノ額ノ問題デアリ
マス、是カラ先ニ出來マス所ノ契約ニ
付テ、再保險料ノ額ヲ定メラレウト思
フ、何トナレバ其ノ再保險料ノ額ガ多
ケレバ、ソレデケ多イヤウナ保險料ノ
契約ヲシテ行ケバ宜シイノデス、ダカ
ラ是カラ先ノ契約ニ付テハ再保險料ノ
料額ヲ如何ニ決定ニナツテモ是ハ宜イ
ト思フ、唯今迄ノ契約ニ付テ此ノ規定
デ拂ハナイデモ法律上宜イモノヲ拂ハ
スヤウニシタモノノ再保險料ハ、是ハ
チヨウト考ヘテ戴カナケレバナラヌコ
トデヤナイカ、極端ニ申セバ、是ハ只
デハナイカ、拂ハナクテ宜イモノヲ拂
フト云フ以上ハ、其ノ尻ハ國家ガ持ツ
ト云フ、只デ國家ガ再保險シテモ宜イ
ヤウニ考ヘレバ考ヘラレヌコトハアリ
マセヌ、併シソレハ又少シ行キ過ギタ
コトデ、實際カラ申シマス、ソレハ
矢張り多少ノ保險料ヲ取ラレルノハ當
然ダト思ヒマス、ダガ其ノ保險料ハ最
初ノ元受契約ノ保險料ト云フモノハ、
戰爭危險ヲ負ハナイ積リデ出來テ居ル
モノデアルノダカラ、其ノ中カラ戰爭
危險ノ奴ヲ澤山取ルト云フコトニナツ

テハ、保險會社ノ基礎ハ頗ル危イコト
ニナル虞ガアル、是ハ非常ニ御考ヲ願
ヒタイト私ハ考ヘル、唯斯ウ云フコト
ハ言ヘルノデアリマス、即チ多クノ生
命保險契約ハ殆ド全部ガ所謂利益配當
付デアリマス、多クノ會社ノ實際カラ
申ス、相當多クノ利益配當ヲシテ居
ル、ダカラ其ノ利益配當ノ出來ルヤウ
ナ部分ダケノモノハ、再保險料トシテ
取ツテモ宜イカト云フコト云フノガ
一ツノ考ヘヤウデアアル、併シ若シサウ
云フ考デ相當大キナモノヲ御取ニナル
トハ、大變ナ私ハ間違ヒデヤナイカト
思フ、ドウ云フコトカト申シマス、
從來ノ保險會社ト云フモノハ少クトモ
非常ナ大キナ蓄積ヲ持ツテ居リマシタ、
何故カト申シマス、從來ハ所謂運用
財產カラ生ズル利益ト云フモノハ非常
ナ宜イ利廻リニナツタ、處ガ保險料計
算ノ基礎ニナツテ居リマス、利率ト云フ
モノハ比較的低イモノデアリマス、能
クハ承知シマセヌガ、三分五厘トカ、
或ハ四分トカ云フヤウナモノデゴザイ
マセウ、ソコデ實際ノ運用ハ從來ハ御
承知ノヤウニ利廻リハ高カツタ、長イ
間相當財產ヲ有利ニ高イ利廻リデ運用
出來タコトハ御承知ノ通り、八分位ノ
利息ノ社債ナント云フモノハ珍シクナ
カツタ、サウ云フヤウナ時代ニ於キマ
シテ利益ノ差ト云フモノハ非常ニ澤山
アリマシタカラ、詰リ保險會社ハ非常
ナ大キナモノヲ蓄積シ得タノデアリマ
ス、他ノ一方ニ於キマシテ死亡率ガ豫
定サレテ居ル計算ノ基礎ニナツテ居リ
マスモノヨリ概シテ宜カツタ、宜イト
云フ意味ハ、其ノ計算ノ基礎ニナツテ
居ル死亡率ヨリハ餘程少イ、死ヌ人ガ
割合ニ少イ、其ノ方カラモ此ノ利益ガ
出テ來ル、經費ノ方ハ附加保險料デア

リマスガ、經費ノ方ハ豫定シテ居ツタ
モノ以上ノモノヲ大概使ツテ居ツタカ
ト思ヒマスガ、今ノヤウナ非常ナ儲ケ
ガ出ル所ガアツタカラ相當ノ蓄積ガ出
來テ來タルデアリマス、是ハ私ハ將來
期待出來ルカドウカ、既ニ此ノ戰爭ノ
危險ニ依ツテ保險會社ガ拂ツタ保險料
ハ、伺ヘバ分リマスガ、何億カニナツ
テ居ルヤウデアリマス、詰リ契約上拂
ハヌデモ宜イモノヲ拂ツテ居ルモノガ
何億カニナツテ居ルモノト思ヒマス、
死亡率ガ是カラドウナルカト申シマス
ト云フト、私ハ相當悲觀ナ考ヘテ持ツ
テ居リマス、詰リ戰爭ノ結果トシテ相
當皆ガ健康ヲ害シマス、今迄ハ戰爭デ
死ンダ人以外ニ付テ考ヘルト、決シテ
死亡率ガ豫定バハ多クナツテ居リマ
スマイ、伺ヘバ分リマスガ、恐ラク餘
リ多クナツテ居ラヌト思ヒマス、ケレ
ドモ此ノ非常ナ數百萬ノ人ガ戰爭ニ直
接從事シテ居リ、又銃後ニ於テ生活シ
テ居ル人モ相當段々苦シイコトニナリ
マシテ無理ナコトヲシテ居リマス、此
ノ疲勞ヤ何カデ結核、其ノ他ノ死亡率
ノ増加ヲ來スベキ原因ハ私ハ戰爭ノ結
果非常ニ今潛在シテ居ルト思フ、私ノ
憂フル所ハ此ノ先ヘ行キマストナカ
ナカ以テ死亡率ガ、今迄ハ都合ガ好カ
ツタ奴ガ、反對ノ方ニ行クノデヤナイ
カト云フ心配ヲ致シマシタ、即チ結
核トカ、其ノ他花柳病、其ノ他戰爭
ニ附キ纏フ所ノ幾ツモノ病氣及ビ一般
ノ疲勞ト云フヤウナコト、ソレカラ食
物ノ不足トカ云フヤウナコトデ、是
カラ先キ私ハ死亡率ガ高マツテ來ル
コトヲ非常ニ憂慮シテ居ル、サウスル
ト死亡率ノ方ノ今迄ノ儲ケナゾヲ標
準ニシテ、利益ハ矢張り是カラモアラ
ウナント御考ニナツタラ大間違ヒデア

ルノミナラズ、私ハ反對ニナル虞ガアリハセヌカト云フコトヲ憂ヘテ居リマス、利差ノ方ハドウデアアルカト云フ、今ノ豫定利率ト實際ノ利率トノ差ト云フモノハ、此ノ頃ハ殆ドナクナツテ來ルニ近イ、況ヤ分類所得稅ト云フヤウナモノヲ色々取ラレタリシマス、ナカナカ以テ財産ノ運用ヲ四分位ニスルノデモ、相當或ハ御骨ガ折レルカモ知レナイ、況ヤ七分ニモ八分ニモ廻ツテ居ツタモノヲ其ノ儘行クト云フコトヲ夢見タナラバ、ソレハ絕對ニ間違ヒデアリマス、サウ云フコトニナリマス、非常ニ是モ亦危イ、他ノ又一方ニ於テハ經費ノ方ハドシテ、殖エル、人件費其ノ他ハ大變ニ殖エル、最初ノ時分ニハ一人ノ使用人ニ對シテ幾フコトヲ積リデ經費ガヤツテアルカモ知レマセヌ、此ノ頃御承知ノ通り大變ナ經費ガ殖エテ來タ、サウシマス、附加保險料トシテ計算シテアルモノハ、モウ勿論足リナイ、大變ナコトニナル虞ガアルト思フ、サウナツテ來マス、生命保險會社ト云フモノハ、總テノ方面カラ非常ニ不利益ナ狀態ニ陥ツテ來ルト思フ、若シサウデナカッタラ、非常ニ辛デスガ、私ハサウ云フコトヲ心配スルノハ決シテ杞憂デハナイト考ヘテ居リマス、サウナツテ來マス、此ノ再保險料ニ、今迄利益相當シテ居ル、出來ルノカラソレデ取立テ、ヤラウト云フコトデ、假リニ相當大キナモノデモ御取ニナツタラ、是ハ生命保險會社ヲ殺スコトニナリハセヌカ、非常ニソレヲ恐レテ居リマス、其ノ點ニ付テ御當局ハ何カ御心配ナシ、イヤソシナコトハ杞憂デ、大丈夫デス、ドシテ取レルト云フヤウニ御考ニナツテ居ルカドウカ、計數等ハ同フコトハシナイ方

○政府委員(迫水久常君)

此ノ法律ノ目的ガ國ノ生命保險事業ノ適切ナル運営ヲ圖ルコトヲ目的ト致シテ居ルノデ、ザイマス、只今松本先生ガ御述ニナリマシタヤウニ、法外ナル再保險料ヲ取立テマシテ、之ニ依ツテ生命保險會社ノ基礎ヲ危クセシムルガ如キコトハ、却テ本法ノ目的ニ全ク反スルモノト存ジマス、從ヒマシテ再保險料ニ付キマシテハ、生命保險統制會等トモ緊密ナ連絡ヲ取リマシテ、多キニ失セズ、又、ト申シマシテ少キニ失セズ、適正ナ保險料ヲ決メテ參リタイト存ジテ居リマス

○松本泰治君

只今ノ御答辯デ私ハ満足致シマシタ、ドウゾ其ノ相當多ク取ラウト云フヤウニ御考ニナル虞ガ相當アルト思ヒマス、ソレハ今迄利益相當ヲシテ居ルノデヤナイカト云フヤウナコトガヒヨツト頭ノ中ニ出ルト思フ、是ハ相當將來ノコトヲ御考ヘ下サツテ、元來拂フベカラザルモノヲ法律デ拂ハスノドト云フコトニナレバ、是ハ少キニ失シテモ或程度宜イデヤナイカトサヘ思フ、此ノ點ヲ御實行ニナルコトヲ希望シマス

○子爵水野勝邦君

是ハ損害保險ノ方トモ關聯シマスガ、中央會社統制會トラドウ云フ風ニ今後連絡サレル御方針デアルカ同ヒタイノデゴザイマス

○政府委員(迫水久常君)

理窟カラ申シマス、中央會ニハ本法ニ依ツテ與ヘラレマシタ一ツノ使命ガゴザイマシ、又統制會ニハ統制會トシテノ使命ガゴザイマシテ、其ノ間ニ必ズシモ重複スルモノハナイノデアリマス、兩者

併存シテ一向差支ナイシ、又現行法ノ建前カラ申シマス、併存スルコトニナルト思ヒマス、唯併シナガラ其ノ組織ハ、此ノ中央會モ實際上各生命保險會社ガ相互ニ組織シテ居リマス、一ツノ會デゴザイマス、統制會モ亦サウデゴザイマス、其ノ間其ノ實體ハ統制會モ中央會モ同ジヤウナモノデゴザイマス、二ツノ間ノ業務ノ調整ニ付テハ今後若干ノ調整ヲ圖ラナケレバナナイカト存ジテ居リマス、目下色々ナ案ニ付キマシテ、譬ヘテ申シマス、統制會ノ業務ハ之ヲ中央會ヲシテ行ハシメルコトニシタラドウカ、或ハ統制會ト中央會トノ兩理事者ヲ人の二同一人ニスル方法ハドウカ等、色々ナ問題ヲ研究致シテ居リマス、只今ノ所迄ハマダ此ノ方針デ行カウト云フ風ニハツキリ結論ヲ得テ居リマセヌ

○子爵水野勝邦君

誠ニ結構デゴザイマスガ、統制會ト中央會トハ理論的ニハ、又形態ノ上カラハ誠ニ明瞭デアリマスガ、實際ハ業者ガ推シタリ推サレタリト云フヤウナコトガ起リ得ル、ソレヲ今ノヤウニ御考ヘ下サツテ安心致シマスガ、其ノ點ガ同ヒタカツタ譯デアリマス、ソレカラ又統制會ガ稍、官僚的ナ關係ニ今迄アルヤウナ様子モ見エマスケレドモ、今度ハ中央會ガ又同ジヤウナ形ニナルコトハ如何カト思ハレマス、此ノ點カラ言ツテ中央會ノ役員ノ人選ガ非常ナムツカシイ問題ニナリハセヌカト思ヒマス、役員ハ理事長ヲ大藏大臣ノ任命ニ依ルコトニナツテ居リマスガ、保險事業ノ性質カラシマシテ非常ニ「テクニク」ヲ要スル問題デアリマス、人選ニハ非常ナ苦心ヲシテ居ラレラウト思ヒマスガ、若シカドウ云フ方針デ理事ヲ選バレルカ、

御案ヲ御持デゴザイマシタラ同ヒタイト思ヒマス

○政府委員(迫水久常君)

中央會ガ所謂官僚化致シマス、コトハ之ヲ避ケル方針ノ下ニ、而シテ中央會ガ文字通り生命保險事業ノ中央的存在トシテ相應シキヤウニ、相當重味ノアル役員陣ヲ作リタイ、斯ウ云フノガ大藏省ノ方針デゴザイマス

○子爵水野勝邦君

次ニ伺ヒタイノハ、保險會社、殊ニ生命保險デアリマスガ、此ノ際ニ又整理統合ノヤウナ問題ガ殘ツテ居リハシナイカト思ヒマス、可ナリ弱體ナ會社モアルヤウデアリマス、是等ニ付キマシテドシテ御方針ヲ御持デゴザイマセウカ

〔速記中止〕

○委員長(男爵東郷安君)

速記開始

○侯爵西郷吉之助君

第十六條ノコトニ付テ伺ヒタイノデスガ、是ハ普通ノ場合ト違ヒマシテ、副理事長ト理事ハ理事長ノ推薦ト云フコトニナツテ居リマスガ、此處ニ御變ヘニナツタ理由ニ特別ノ何カ理由ガアルノカドウカ、更ニ副理事長及理事ハ理事長ノ推薦デアルト云フコトデアアルガ、此ノ理事長ハ主務大臣ガ命ズルノデアリマス、中央會ノ人の組成ガ非常ニ官僚的ノ色彩ガ濃厚ニナル傾向ガ多分ニアリハシナイカト思ヒマスガ、其ノ點ハ如何デゴザイマセウカ

○政府委員(迫水久常君)

第十六條第二項ノ規定ヲ置キマシタ趣旨ハ、實ハ只今西郷侯爵ノ御述ニナリマシタノト反對ノ氣持デアリマシテ、副理事長以下悉クヲ政府ノ一方ノ任命ニ致シマスル

ヨリモ、理事長ハ是ハ政府ガ任命致シマスガ、理事長ノ率キル部隊ヲ理事長自身ノ考ニ依ツテ選任セシメ、其ノ理事長ノ推薦セシムルコトヲ意味ニ於キマシテ、理事長ノ推薦シタ者ノ中カラ主務大臣ガ之ヲ命ズルコトヲ云フコトニ致シマス、只今御述ニナリマシタ所謂中央會ノ官僚化ト云フコトヲ防ギマスル上ニ於テ、意味ガアルコトデハナカラウカト斯ウ考ヘマシタノデ、實ハ第二項ヲ置イタ次第デゴザイマス

○侯爵西郷吉之助君 今政府委員ノ御説明デ、左様ナ趣旨ニナサレバ非常ニ結構ナコトデアアルト考ヘマス、併シナガラサウ云フ風ニ御考ヘ下サツテ、サウ云フ風ニ人選ヲナサレバ今ノヤウナコトニナリマスガ、稍、モスレバ實際ニハサウデナク動ク傾向ガ多分ニアルノデ、チヨツト念ノ爲ニ伺ツタノデアリマスガ、今ノヤウナ御考デ此ノ人の構成ヲナサレバ非常ニ結構デアリマス

○河田烈君

二三御質問致シタイト思フノデスガ、此ノ御配付ニナツタ參考書、衆議院ノ中原委員ノ請求、生命保險中央會ニ關スル參考書類、命令ヲ以テ規定スル主ナル事項、其ノ第二ノ法案第二十六條關係、是ハ先刻松本委員カラ御質疑ニナリマシタガ、ソレヲ見マス、第一項、命令ヲ以テ定ムル金額ニ付テハ戰爭危險ニ因ル保險金ノ支拂ノ責ヲ免ルコトヲ得ズ、(一)一定時期以前ニ成立シタル死亡保險契約ニ付テハ元受保險金額トスルコト、(二)一定時期以降成立シタル死亡保險契約ニ付テハ被保險者一人ニ付元受保險金額以下ノモノトスルコト、斯ウ云フ參考ノ書類ヲ御配付ニナツテ居リマスガ、此ノ一定時期ト云フノハドシナ御腹案デスカ、或ハ大東亞戰爭勃發

以後トカ、勃發以前トカ云フヤウナ意味デアリマス

○政府委員(追水久常君) 此ノ一定時期ト云フコトデゴザイマスガ、是ハイツニスルカト云フ御尋デゴザイマセウカ

○河田烈君 大體サウデスガ、一定期間ト書イテナイカラ、何年掛ケタト云フ意味デナシニ、或時期ヲ限ツタコトデスカラ、イツト云フコトハ今結局、政府委員ノ念ヲ押サレタヤウナ意味ニナリマス

○政府委員(追水久常君) 此ノ一定時期ヲ劃シマシテ、一定ノ時期以前ト云フコトニ取扱フ區別致シマス、趣旨ハ實ハ此ノ再保險ヲ政府ガ一切引受ケル、戰爭保險ノ再保險ヲ政府ガ引受ケルト云フコトニナリマシテ、後ニ於キマシテハ、保險會社ハ樂ナ氣持テ保險ガ取レル、保險契約ガ出來ル、ソコニ若シ惡性質ノ外交員等ガ居リ、或ハ惡性質ノ保險契約者等デモアリマスルト、法外ナ金額ノ保險契約ヲ結ブコトニナツテ來ル、所謂「モラル・リスク」ノ問題ガ玆ニ起リマスノデ、ソレヲ防ギマスル爲ニ、一定ノ時期ト云フモノヲ劃シテ、ソレ以前ハ全額政府ガ再保險ニ任ズルガ、一定時期以後ニ於キマシテハ、一部分ノ或一定金額以下ノモノニ付テノミ、再保險ノ責任ニ任ズルト云フコトニシヨウト云フノガ趣旨デアリマス、ソコデ實ハ此ノ一定時期ハ、政府ガ戰爭保險ノ再保險ヲ引受ケル、政府ガ、ト云フト多少語弊ガアリマスガ、即チ政府ノ積極性ノ責任ニ歸スル仕組ニ於テ、戰爭保險ノ再保險ヲ引受ケルト云フコトガ、外部ニ發表セラレマシタ時期ヲ、一ツノ時期ト實ハ考ヘテ居リマシテ、本年一月一日以前、一

月一日ヲ以テ此ノ時期ニシタイト實ハ考ヘテ居ツタノデアリマス、段々其ノ時期ガ經ツテ見マスルト云フト、必ズシモサウ云フヤウナ惡イ事態ト云フモノハ起ツテ居リマセヌ、從ツテ今後此ノ法律ノ成立ノ時期ガ比較的早マリマスルナラバ、或ハ法律成立ノ時期ヲ以テ、此ノ一定ノ時期ト致シテモ差支ナイノデハナカラウカト云フ風ニ只今ハ考ヘテ參リマシタ、マダ其ノ點ハツキリシタ結論ヲ得テ居リマセヌ

○河田烈君 其ノ點ハ能ク了承致シマシタ、サウ致シマス、今松本委員カラモ御説ガ出マシタガ、從來ノ保險契約者ニハ戰爭等ノ危險ニ付テハ、私案人デ能ク覺エテ居リマセヌガ、何カ保險ノ掛金ノ率ヲ、普通ノ率デナク或ハ高メレバ、戰爭保險其ノ他ノ保險ニ對シテ、保險契約モ出來タカト思ヒマスガ、普通ノ率デハ戰爭等ノ危險ニ對シテ支拂フ義務ガナイヤウニ約款ハ書イテアツタト思ヒマスガ、ソレヲ今日ノ場合實際ハ支拂ツテ居ルト、斯ウ云フコトニナリマシテ、其ノ結果ハ本法ノ出來マス前ノ普通ノ保險契約者ニ對シテモ、戰爭保險ニ依ル死亡ニ對シテ全額ヲ拂フト云フ、此ノ慣行ガ法制化サレル結果ニナルノデハナイカト思ヒマスガ、サウスルト保險金額ヲ拂フ方ハソレデ宜シイケレドモ、從來ノ保險契約ト云フモノノ中ニハ、戰爭保險ハ大體ニ於テ入ツテ居ナイ、然ルニ中央會ガ引受ケル場合ニハ、生命保險第九條ノ第一號ニハ、生命保險ニ於ケル戰爭保險ノ再保險引受アリマスガ、從來ノ分ハ戰爭保險ト書イテナイノデアルカラ、從來ノモノハ全然中央會ガ引受ケナイト云フ結果ニナリハシマセヌカ、ソレガ又從來ノ慣行ト云フカ、

二、三年ノ例ニ依ツテ實際ハ拂ツテ居タカラ、ソレヲ政府ニ於テ、中央會ニ於テ引受ケテヤルト云フコトニナルト、中央會ハ第一號ノ從來ノ保險契約ハ、戰爭保險ニアラザル死亡ノ場合デアアルカラ、第一號ノ引受ノ中ニ入ラナイコトニナリハシマセヌカ

○政府委員(追水久常君) 此ノ保險ハ斯ウ云フ風ニ相成リマス、保險會社ガ、例ヘバ私ナラ私ト云フ者ガ保險ヲ致シマシテ、五千圓ナラ五千圓ノ保險ヲ掛ケテ居ルト、私ハ保險料ヲ支拂ツテ居ル、私ガ死ヌト云フ事態ガ起ツタト云フ場合ニ、此ノ五千圓ヲ其ノ保險金受取人ガ受取ル譯デアリマスガ、其ノ死ニマスル原因ガ病氣デ死ニマス場合ハ當然拂フ譯デアリマス、私ガ爆彈ニ當リマシテ死ニマシタ場合ニハ、今ハ會社トシテハ支拂フ義務ハナイノデアリマスガ、實際上ハ支拂ツテ居ル、今回ノ此ノ仕組ニ於キマシテハ保險會社ガ私ニ對シテ五千圓ヲ支拂ト、其ノ保險ヲ中央會ニ對シテ再保險ニ付スル、一年間ナラ一年間千圓ニ付テ何圓トカ、若干圓ノ保險料ヲ中央會ニ納メテ再保險ニ致シマス、サウ致シマシタ場合、私ガ戰爭危險デ死ニマシタ場合、即チ爆彈ニ當リマシテ死マシタ場合ニ於キマシテハ、中央會ノ方カラ私ニ拂フ五千圓ノ分ヲ、中央會カラ保險會社ニ拂戻シテ呉レル、斯ウ云フコトニ相成ルノデアリマス、ソレデ此ノ一定時期以前ニ成立致シマシタ死亡ニ付キマシテハ、假リニ私ガ五十萬圓ノ保險ヲ付ケテ居ツテモ、其ノ五十萬圓金額、ソレニ對スル再保險料ヲ保險會社ガ納メマスナラバ、中央會ハ五十萬圓ノ全額ヲ再保險トシテ保險會社ニ拂フ、一定時期以後ニ於キマシテハ其ノ中ノ一定

金額シカ……假リニ私ガ五十萬圓ノ保險ヲ契約致シテ居リマシテモ、其ノ一定金額ノ部分シカ再保險ヲ付ケテ呉レナイ、斯ウ云フコトニナルノデアリマス、斯ウ云フ趣旨デゴザイマス

○河田烈君 サウスルト今迄ノ約款ノ表向キデハ戰爭危險ニアラザル死亡ノ場合ニハ、當然保險會社ガ支拂フノハ當リ前デアリマスガ、解釋上其ノ實際ノ取扱上戰爭危險ノ死亡デモ拂ツテ居タ、今度之ニ依リマシテ中央會ガ引受ケルノハ戰爭危險ニ依ツテ生ジタル所ノ死亡ニ對シテハ再保險ヲ取ルガ、然ラザル普通ノ死亡ニ付テハ再保險ヲシナイ、是ハ當然ダラウト思ヒマス、其ノ場合ニ從來ノ契約ハ普通ノ保險ヲ契約シテ居ル、然ルニソコニ死亡ノ原因ガ戰爭危險ニ依ツテ發生シタ場合ニハ、再保險ノ引受ヲシヤルト云フコトニナルト、此ノ元受保險業者ハドウ云フ風ニ再保險ヲスルコトガ出來ルノデセウカ、全部ヲ戰爭危險ガ發生スル虞アリトシテ、再保險ニ付スルコトニナルノデセウカ、モウ一遍言ヒマス、今具體的ニ例ヲ擧ゲラレタカラ、例ヲ申セバ或生命元受保險會社ノ保險契約ガ何億トアル、其ノ中當リ前ニ死亡スル人モアリマセウ、當リ前ニ死亡スル人ノ保險金ハ是ハ中央會ニ持ツテ行カレナイモノデアアルカラ、其ノ儘自己デ金ヲ拂フ、併シ其ノ内半分ガ戰爭危險デ保險支拂義務ガ生ジタル、是ハ中央會ノ負擔ニスル爲ニ再保險ニ付スル譯デアツテ、ドノ場合ガ普通ノ死亡デモ受ケルノカ分ラナイカラ、全額ノ保險金ノ契約額ヲ全部中央會ノ再保險ニ付スルコトガ出來ルノデセウカ、斯ウ云フノデス

○政府委員(追水久常君) 御説ノ通り契約高ノ全額ニ對シテ再保險ニ付スルコトガ出來ルノデアリマス

○河田烈君 サウデスカ、サウシマス、元受保險業者ハ普通ノ死亡ニ依ツテ發生シタ時ノ保險契約額ニ付テモ再保險料ヲ拂ハナケレバナラヌト云フコトニナリマスナ

○政府委員(追水久常君) 再保險ノ料ノソコガ決メ方ノ問題ニナツテ來ルト思フノデアリマス、何億カノ保險契約ノ殘高ガゴザイマス中、ドノ位ガ戰爭危險ニ因ツテ死ヌデアラウカト云フ、實ハ其ノ計算カラ再保險料ガ計算セラ

スガ、戰爭危險デ死ヌデアラウト想像セラル、其ノ「パーセンテージ」ニ相當スルダケノ再保險料ヲ保險會社トシテ納メレバ宜イ、現實ノ問題トシテ此ノ法律ニ依ル再保險料ヲ決メマス場合ニハナカノ「サウ云フヤウナ嚴密ナ計算モ出來マセヌ」先程松本先生ヨリノ御話モゴザイマシタノデ、モツト遠觀的ナ見地カラ生命保險制度全體ノ適切ナル維持ト申シマスガ、サウ云フ見地カラ再保險料ヲ決メテ行クト云フコトニナルト思ヒマスケレドモ、要スルニ契約殘高ノ中戰爭危險ニ依ツテ支拂フベキ其ノ部分ニ對應スル保險料ヲ納メ

ル、斯ウ云フコトニナリマス

○河田烈君 サウシマス、裏面的ニハ斯ウ解釋出來ル譯デスナ、元受保險業者ハ保險契約殘高ノ全額ニ對シテ保險ニ付スルモノナリ、自分ノ危險ニ於テ少クトモ半分ヲ再保險ニ付シテモ可ナリト云フコトニナリマス

○政府委員(追水久常君) ソレハ第二十六條第二項ノ規定ニ依リマシテ、生命保險會社ハ必ず生命保險中央會ノ再

保險會社ハ必ず生命保險中央會ノ再

保險ニ付サナケレバナラヌ、斯ウ云フコトニナツテ居リマス、自分ノ「リスク」ニ於テ一部分ヲ留保シテ置クコトハ認メナイノデアリマス

○河田烈君 第二十六條第二項ニ「保險會社ハ其ノ引受ケタル生命保險ニ於ケル戰爭危險」ト書イテアルガ、ドレガ戰爭危險ニ因ル死亡カ、ドレガ普通ノ死亡ニナルカ、是ハチヨットオ釋迦様デモ分ルマイト思ヒマス、是ハ書キ方ガ政府委員ノ御答辯ニ依リマス、戰爭危險デナク、生命保險殘高全部ヲ再保險ニ付スベシト云フコトニナリマス

○政府委員(追水久常君) 金額ハ御説ノ通り全額デアリマス、併シナガラ生命保險中央會ガ再保險ヲ取リマス部分ハ、戰爭危險デナク、生命保險殘高全部ヲ再保險ニ付スベシト云フコトニナリマス、普通危險ハ是ハ取リナイノデアリマス、ソコハドウ云フコトニナルカト申シマス、結局再保險ノ問題ニナツテ來ル課デアリマス、戰爭危險ノ部分ダケシカ再保險ヲ取ラナイ、斯ウ云フコトデ戰爭保險ト普通保險ト云フモノガ分レテ來ルノデアリマス

○河田烈君 ソコガチヨット分ラナイ、第十九條第一項ニ依レバ再保險ノ引受ト云フコトハ、死亡ノ發生シタル原因ガ戰爭危險ニ因ツタモノデナケレバ、生命保險中央會デハ之ヲ引受ケテヤラナイノデアリガ、ドレダケガ戰爭危險ニ因ル死亡デアアルカ、ドレダケガ普通死亡デアアルカト云フコトハ分ラナイノデアリカラ、命令ヲ以テ中央會ノ再保險ニ是非付スベシト云フコトニナルト、今前ニ私ガ申上ゲマシタ通りニ、自己ノ危險ニ於テ一部分ヲ付ス、一部分ヲ付サナイト云フコトニナラバ宜イデスガ、第二十六條第一項ノ規定ハ契約殘高全部ヲ再保險ニ付セヨト云フ命令

ヲスルト云フコトニナルト、此ノ書キ方デハサウハ取レナイヤウニ思ヒマスガ……モウ一遍申シマセウカ、是ハ此ノ第二項ハ生命保險ニ於ケル戰爭危險ヲ中央會ニ再保險ニ付スベシ、戰爭危險ガドレダケニナルカ未定ノ問題デアツテ分ラナイ、新シク戰爭危險ニ因ル死亡ト然ラザル死亡ト云フコトヲ分ケレバ出來ルガ、從來ノモノハ分レテ居ナイ、普通ノ保險契約ヲシタガ、戰爭危險ニ因ツテ生ジタ場合ニモ拂ヘ、斯ウ云フデカラ、ドレダケガ戰爭危險ニ因ル所ノ死亡カト云フコトハ、是ハ發生シテ見ナケレバ分ラナイ、豫メ戰爭危險ヲ再保險ニ付スベシト云フノハ、チヨット出來ナイノデアリナカ、出來ナイトスレバ今ノ政府ノ御説明ノ通り第二項ノ保險契約ノ殘高ハ全部命令ニ依ツテ再保險ニ付セシメル、其ノ代リ此ノ中ノ何分カハ普通ノ死亡デアリ、何分カハ戰爭死亡デアアルカ、何分ラ再保險ニ付スルト云フノデアリナラバ分リマス、分リマスガ、ソレナラバ生命保險全額デ、戰爭危險ヲ再保險ニスル必要ハナイ、戰爭保險ヲ付スル結果此ノ意味ハサウスルト、戰爭保險全部ヲ再保險ニ付スベシ、但シ實際再保險ノ支拂ハ負擔シタルモノハ、戰爭危險ニ依ツテ發生シタル死亡ノミト、斯ウ云フ風ニ解釋スル譯デスカ、字句ノ問題ヨリモ實際ノ問題トシテハ、兎モ角モ從來ノ契約殘高ヲ全額再保險ニ付セシメル、而シテ其ノ負擔ヲシタルモノハ戰爭危險ニ依ツテ發生シタル場合ニ負擔シタルト、斯ウ解釋スレバ宜シイノデスカ

○政府委員(追水久常君) 其ノ通りデゴザイマス、例ヘバ私ガ爆撃ヲ受ケテ死ニマスカ、又隣ノ者ガ爆撃ヲ受ケテ死ニマスカ、誰ガ戰爭危險ニ依ツテ保險ノ支拂ヲ受ケルカト云フコトハ分ラナイノデス、併シ全體ヲ通計致シマスト、大體死亡者ノ何「パーセント」位ハ其ノ戰爭危險デ死ヌト云フコトノ見當ガ付ク譯デス、其ノ部分ダケヲ生命保險中央會ガ、戰災ノ中ノ何割ダケカラ引受ケルヤウナ格好ニ於テ再保險料ヲ計算シタルト、斯ウ云フコトニナル譯デス

○河田烈君 サウカトモ思ツタノデスガ、サウスルト初メノ御説明ノ保險契約殘高ノ全額ニ對シテ再保險ニ付スルノデアリナノデスネ

○政府委員(追水久常君) 全額ヲ再保險ニ付シテ置イテ、數億ノ保險契約ガゴザイマス中、ドノ口ニ付テ戰爭危險ガ生ジマシテモ、是ハ中央會ガ再保險ヲシタルノデスガ、從ツテ會社トシテハドノ口ニ付テサウ云フ危險ガ起ルカ分リマセヌカラ、全部ヲ一遍再保險ニ取ル譯デス、從ツテソレダカラ又再保險料モズツト安ク決メラレルト云フコトニナリマス、現實ノ戰爭危險ノ起ル部分ダケ再保險ニ付スルナラバ、元受保險會社ガ取リマシタ全額ヲ中央會トシテハ實ツテ來ナケレバ算盤ガ合ハナイコトニナルト思ヒマス、從ツテ再保險ニ付シマスノハ全額デアリマシテ、併シ現實ニ戰爭危險ニ依ル死亡ト云フコトガ分リマスノハ其ノ中ノ何「パーセント」ノ小サナモノデアリマスカラ、從ツテ再保險料ハ元受保險會社ガ取リマシタ保險料ノ中ノ極メテ一部分ヲ生命保險中央會ニ持込メバ宜イト、斯ウ云フヤウニ取レマスネ、無論ドノ口、口ト云フコトハ分ラナイノデアツテ、保險契約殘高ニ付テ再保險ニ付スル、付セシメル、是ハ命令トシテ義

務ニナツテ居ルト云フ御説明デスガ、サウスルトナラバ、ソレヲ政府ニ於テ半額カ、凡ソ三分ノ一カ、四分ノ一ハ戰爭保險ニ依ツテ死亡ガ發生スルダラウト思ツテ再保險料ヲ全額ニ付テ再保險ニ付セシメルカ、要求ヲソコデ以テ斟酌スルト云フコトヲ言ハレルノモ、今度會社ノ方「オブション」ニ於テ、危險負擔ニ於テ、私ノ所ハ其ノ中ノ半額ダケヲ、無論半額ト申スノハ保險契約額ノ金額ノ殘高ノ金額ヲ言フノデアツテ、口デハアリマセヌガ、ニ付テ再保險ニ付シマスト云ツテ再保險料ヲ少クスルノモ、結果ニ於テハ同ジニナルダラウト思ヒマスガ、再保險料ニ區分ガ出來ルト云フコトニナルト面白クナイカラ、政府ノ言ハレルヤウニシテ宜イダラウト思ヒマスガ、結局ソレハ全額、命令シナクテモ、會社ノ危險ニ於テ再保險ニ付スル金額ト云フモノヲ斟酌サセテモ同ジ結果ニナルノデヤナイカト思ヒマス、併シ是ハドトラデモ結果ハ同ジダト思ヒマスカラ、別ニソレ以上申上ゲルコトハアリマセヌ、ソレカラモウ一ツ、此處ニ第十九條第二號戰爭死亡傷害保險法ニ依ル保險ノ引受、是ハ……並ニ其ノ第一號ト關聯シテ、各保險元受業者ガ現ニ戰爭死亡傷害保險ノ引受ヲシテ居ルノ再保險モ、此ノ中央會デ取ルコトニナルノデセウカ

○政府委員(追水久常君) 戰爭死亡傷害保險法ニ依リマスル保險ハ、現在各保險會社ガ元受ヲ致シテ居リマスノヲ、今度ハ此ノ生命保險中央會ガ一本デ元受ヲ致シマシテ、各保險會社ハ中央會ノ代理店トシテ活動ヲ爲サシメル、斯ウ云フヤウニ變ヘル譯デアリマス、斯ウ云フノデアリマス

○河田烈君 サウシマス戦争死亡傷害保險ハ一年限リダカラシテ、其ノ一年ノ契約ノ満期ノ時ニ變ツテ行ク、斯ウ云フコトデゴザイマスカ

○政府委員(追水久常君) 御話ノ通りデゴザイマス

○河田烈君 サウスルト今度、チヨットマダ議題ニナツテ居リマセヌカ知レマセヌガ、同ジヤウナ損害保險中央會ノ方ニ關聯シマスガ、今ノ損害保險會社モ亦生命保險中央會ノ代理店ニナル、斯ウ云フコトニナリマス

○委員長(男爵東郷安君) モウ一遍……

○河田烈君 是ハ現在ノ損害保險會社ニ於テ戰爭死亡傷害保險ヲ取ツテ居リマスカラ、矢張り中央會ノ代理店ニナル、中央會ノ代理店ニナルト云ヘバ、損害保險會社モ亦代理店ニナル、斯ウ云フコトデスカ

○政府委員(追水久常君) 只今御話ノ通りデゴザイマス

○河田烈君 少シ理窟ツボイヤウデスガ、ドトラガ保險ヲ取ツテモ、生命ノ死亡傷害ガ起ツタラ同ジコトカ知ラヌガ、一體戰爭死亡傷害保險ハ損害保險デアツテ生命保險デナイトスルト、サウスルト生命保險中央會ガ取ルベキデアアルカ、次ニ出テ來ル損害保險中央會ガ取ルベキカト云フ點ニ疑點ガアルノデスガ、死亡デアアルカラ生命保險ニナツテ居ルカモ知レヌガ、保險ノ性質カラハ損害保險デ生命保險デナイト思ヒマスガ、生命ニ係ハル問題デスカラ、ソレダカラコソ從來損害保險會社ガ取ツテ、生命保險會社デモ無論取ツテ居リマス、サウ云フヤウナ議論ニナリハシナカラウカト思ヒマス、是ハドトラガ取ツテモ同ジデスカラ、論フニハ及バヌト思ヒマスガ、如何デスカ

○政府委員(追水久常君) 只今御話ノ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

ノヤウナ時勢デハ已ムヲ得ナイと思ヒ

マシ、又現在生命保險會社ガ計算シテ

○委員(男爵東郷安君) 齋藤子爵

○委員外議員(子爵齋藤齊君) 先程政

府委員カラ御話ノアリマシタ再保險保

險金額ニ付テ御説明ガアツタノデア

○政府委員(追水久常君) 再保險問題

ハ起リマセヌ

○委員外議員(子爵齋藤齊君) 十九條

ノ關係デスネ

○政府委員(吉村成一君) サウデス

○委員外議員(子爵齋藤齊君) 果シテ

ソレデ宜イカドウカト云フ問題ハ、數

理上ノ問題ハ問題ニナリマスガ、今日

○政府委員(追水久常君) 只今御話ノ

○委員(男爵東郷安君) 齋藤子爵

○委員外議員(子爵齋藤齊君) 先程政

府委員カラ御話ノアリマシタ再保險保

○政府委員(追水久常君) 再保險問題

ハ起リマセヌ

○委員外議員(子爵齋藤齊君) 十九條

ノ關係デスネ

○政府委員(吉村成一君) サウデス

○委員外議員(子爵齋藤齊君) 果シテ

ソレデ宜イカドウカト云フ問題ハ、數

理上ノ問題ハ問題ニナリマスガ、今日

○政府委員(追水久常君) 再保險問題

ハ起リマセヌ

○委員外議員(子爵齋藤齊君) 十九條

ノ關係デスネ

○政府委員(吉村成一君) サウデス

○委員外議員(子爵齋藤齊君) 果シテ

ソレデ宜イカドウカト云フ問題ハ、數

理上ノ問題ハ問題ニナリマスガ、今日

○政府委員(追水久常君) 再保險問題

ハ起リマセヌ

○委員外議員(子爵齋藤齊君) 十九條

ノ關係デスネ

○政府委員(吉村成一君) サウデス

○委員外議員(子爵齋藤齊君) 果シテ

ソレデ宜イカドウカト云フ問題ハ、數

理上ノ問題ハ問題ニナリマスガ、今日

○政府委員(追水久常君) 再保險問題

ハ起リマセヌ

○委員外議員(子爵齋藤齊君) 十九條

ノ關係デスネ

○政府委員(吉村成一君) サウデス

○委員外議員(子爵齋藤齊君) 果シテ

ソレデ宜イカドウカト云フ問題ハ、數

理上ノ問題ハ問題ニナリマスガ、今日

○政府委員(追水久常君) 再保險問題

ハ起リマセヌ

○委員外議員(子爵齋藤齊君) 十九條

ノ關係デスネ

○政府委員(吉村成一君) サウデス

○委員外議員(子爵齋藤齊君) 果シテ

ソレデ宜イカドウカト云フ問題ハ、數

理上ノ問題ハ問題ニナリマスガ、今日

○政府委員(追水久常君) 再保險問題

ハ起リマセヌ

○委員外議員(子爵齋藤齊君) 十九條

ノ關係デスネ

○政府委員(吉村成一君) サウデス

○委員外議員(子爵齋藤齊君) 果シテ

ソレデ宜イカドウカト云フ問題ハ、數

理上ノ問題ハ問題ニナリマスガ、今日

○政府委員(追水久常君) 再保險問題

ハ起リマセヌ

○委員外議員(子爵齋藤齊君) 十九條

ノ關係デスネ

○政府委員(吉村成一君) サウデス

○委員外議員(子爵齋藤齊君) 果シテ

ソレデ宜イカドウカト云フ問題ハ、數

理上ノ問題ハ問題ニナリマスガ、今日

○政府委員(追水久常君) 再保險問題

ハ起リマセヌ

○委員外議員(子爵齋藤齊君) 十九條

ノ關係デスネ

○政府委員(吉村成一君) サウデス

○委員外議員(子爵齋藤齊君) 果シテ

ソレデ宜イカドウカト云フ問題ハ、數

理上ノ問題ハ問題ニナリマスガ、今日

○政府委員(追水久常君) 再保險問題

ハ起リマセヌ

○委員外議員(子爵齋藤齊君) 十九條

ノ關係デスネ

○政府委員(吉村成一君) サウデス

○委員外議員(子爵齋藤齊君) 果シテ

ソレデ宜イカドウカト云フ問題ハ、數

理上ノ問題ハ問題ニナリマスガ、今日

○政府委員(追水久常君) 再保險問題

ハ起リマセヌ

○委員外議員(子爵齋藤齊君) 十九條

ノ關係デスネ

○政府委員(吉村成一君) サウデス

○委員外議員(子爵齋藤齊君) 果シテ

ソレデ宜イカドウカト云フ問題ハ、數

理上ノ問題ハ問題ニナリマスガ、今日

○政府委員(吉村成一君) 主務大臣ガ

生命保險中央會ノ業務ニ協力セシムル
爲ニ保險會社ニ對シテ命令ヲ爲ス場合
ハ、實際問題トシテハ極メテ稀デアラ
ウト思ヒマスシ、又斯ウ云フ規定ガア
ルコトニ依リマシテ、實際上保險會社
ガ中央會ノ業務ニ協力スルコト云フコト
ニナルト思ヒマスノデ、此ノ規定ハ實
際上ノ發動ハ只今ノ所ト致シマシテハ
必要ガナイノデハナイカト考ヘテ居リ
マス、唯將來ノ問題トシテ考ヘラレマ
スコトハ、或ハ標準下體保險ノ再保險
ヲ出スト云フヤウナ場合ニ於キマシテ、
各社ガ、或會社ハ標準下體ノ再保險ヲ
出サナイ、標準下體ノ保險ヲ出サズ、
或會社ハ再保險ヲ出スト云フコトニデ
リマシテハ、勢ヒ其ノ間ニ標準下體ノ
再保險料ノ部面ニ於キマシテ面白クナ
イ影響モ生ズル虞ガアリマスノデ、斯
カル場合ニ於キマシテハ、各社一様ニ
此ノ標準下體ノ方ニ付キマシテハ再保
險ニ出シテ貰フト云フヤウナ場合モ、
將來ノ問題トシテ想像サレルト思フノ
デアリマス

○委員外議員(子爵齋藤實君) 標準下

體ノ生命保險、所謂團體保險ガ此ノ協
榮生命行ハレテ居リマシタノハ、當
時弱小會社ガ多數ニアツタ、其ノ爲ニ
必要デアツタノデアリマシテ、今日ノ
如ク、又近キ將來此ノ保險會社ガ強力
化サレルト云フ時代ニナリマスル、
標準下體ノ生命保險、各社ニ引受サセ
テモ差支ナイノデハナイカト思ヒマス、
現ニ標準下體ノ契約申シマスモノハ
極ク僅カシカナイノデアリマス、之ヲ
再保險サセルト云フコトヲ命令デヤル
ト云フコトハ少シ行キ過ギデハナイカ
ト思ヒマス、又第十九條ノ第四ノ「生

命保險ノ再保險ニ關スル取引」ト云フ

ノガアリマスルガ、此ノ場合ニ於キマ
シテモ同様ナル點ガアルノデアリマシ
テ、例ヘバ高額ノ保險金ノ再保險申シマ
スモノモ、之ヲ命令デ以テヤラセルト
云フコトニナリマスル、或一ツノ保
險團體テ其處デ被保險者ガ利益ヲ受ケ
テ居ツタ者ガ、ソレガ命令ニ依ツテ其
ノ利益ガ削減サレテ來ルト云フヤウ
ナ事態モ起リ得ルノデアリマシテ、
此ノ命令ノ發動ニ付キマシテハ十分御
注意ヲ願ヒタイト存ズル次第デアリマ
ス、次ニ二十條ト六十六條デゴザイマ
スガ、此ノ保險金ニ對シテ信託ガ出來
ルコトニナツテ居ルノデアリマスルガ、
是ハ他ノ法律或ハ行政指導等ニ依リマ
シテ、強制シテ行クト云フヤウナ御考
ガアリマスルカドウカ承リタイト思ヒ
マス

○政府委員(迫水久常君) 御質問ノ趣

旨ガ、會社ニ斯ウ云フ信託業務ヲ行フ
コトヲ強制スルカト云フコトデアリマ
スルナラバ、各會社ニ對シテ斯ウ云フヤ
ウナ業務ヲ強制スル意思ハゴザイマセ
ヌ、若シ保險金受取人ヲシテ、斯クノ
如キ信託行爲ヲ爲スコトヲ強制スルカ
ト、斯ウ云フ意味ノ御質問デゴザイマ
スレバ、是亦之ヲ強制スル意思ハゴザ
イマセヌ

○委員外議員(子爵齋藤實君) 私ノ質

問ノ趣旨ハ今ノ政府委員ノ御答辯ノ後
段ノ部類デアリマシタ、最後ニ第二十
六條ニ關聯シテ御尋シタイト思ヒマ
ス、此ノ規定ニ依リマシテ戰爭危險ニ
對シテ再保險ヲ出シタ部分ノ残りノ部
分ニ付キマシテ保險危險ガ發生致シマ
シタ場合ニ、保險會社ニ其ノ保險金ヲ
支拂ハセルコトハ自由ニ任セテ居ル譯
デゴザイマスカ

○政府委員(迫水久常君) 生命保險ノ

其ノ一定ノ金額ヲ超エタ部分ニ付テ
ハ、戰爭危險ニ依リ保險金ノ支拂ヲセ
シムルカト、斯ウ云フ御質問ノ趣旨ト
存ジマスルガ、之ニ付キマシテハ現在
色々各會社ニ於テ、ソレレノ約款ガゴ
ザイマシテ、場合ニ依ツテハ保險金ヲ
減額シテ支拂フト云フヤウナモノモ……
チヨット訂正ヲ致シマス、其ノ部分ニ
付キマシテハ、最近ニ於キマスル契約
ニ付キマシテハ法律約款ガアリマシテ、
全部無條件デ拂フト云フコトニナツテ
居リマスノデ、ソレノ約款通リニヤル
コトニナルト思ヒマス

○委員外議員(子爵齋藤實君) 十九條

ニ於キマシテ、命令ニ依リマシテ一人
幾ラト云フ風ニ決メラレマスル、再
保險ノ出セナイ部分ガ出來テ參リマス、
而モ再保險ニ出シ得ル部分ト出セナイ
部分トハ、契約ガ二社或ハ三社ニ跨リ
マスルト、失効、解約、復活等ノ時期
等ニ依リマシテ是ガ浮動シテ參リマス、
從ツテ被保險者ガ死亡致シマシタ時
ニ、被保險者ガ受取ル保險金ニ何等變
リハアリマセヌガ、保險會社ガ再保カ
受ケマスル再保險金ノ額ガ取レタリ、
取レナカッタリスルヤウナ事態ガ發生
スルノデアリマシテ、此ノ點一人幾ラ
ト申シマス風ニ此ノ命令ヲ決メマスル
ト色々難點ガ出テ來ルノデハナイカ
ト思ヒマス、十分此ノ點ハ御考慮ニナ
ツテ戴キタイト存ズルノデアリマス、
是デ私ノ質問ヲ終リマス

○河田烈君 チヨット今質問應答ヲ伺

ツテ居リマシテ、サツキ伺ヒ漏レガア
ルヤウナ氣ガスルノデスガ、十九條第
一號ノ再保險ノ引受ト云フノハ、元受
會社ノ保險契約殘高全體ニ付テ再保險
ニ付セシメル、ソレガ何「パーセント」

カガ實際戰爭危險ニ移リマス、ソレハ

一定ノ推定ヲスルガ、其ノ推定ニ基
テ再保險料ヲ調節スルト、斯ウ云フヤ
ウニ承ハツタノデスガ、サウシマス
十九條ノ第二項ノ「前項第一號ノ再保險
ノ引受ヲ爲ス金額ハ命令ヲ以テ之ヲ定
ム」ト云フノハ、是ハドウ云フコトデ
ス

○政府委員(迫水久常君) 保險契約殘

高ノ金額ト云フコトヲ申シマシタノ
ハ、稍、荒ツボイ表現デゴザイマシテ、
ソレハ先程御質問ガ出マシタヤウニ一
定ノ時期ヲ限ツテ、一定ノ時期以前ハ
全額ヲ此ノ會社ガ再保ヲ引受ケマスル
ガ故ニ、各保險會社ハ保險契約殘高ノ
全額ヲ之ニ持ツテ參リマス、一定ノ時
期以後ニ付キマシテハ其ノ金額ニ一定ノ
限界ヲ付シタイト考ヘテ居リマスルノ
デ、其ノ場合ニハ其ノ限界ノナイダケ
ノ金額ヲ持ツテ來ルト、斯ウ云フコト
ニ相成リマス

○河田烈君 分リマシタ、ソレカラ序

ニモウ一遍伺ヒマスガ、戰爭危險ニ依
ツテ生ジタル危險ヲ再保險ヲシテヤル
ト云フ場合ニ於テ、一體普通生命保險
ト標準下體生命保險ヲ分ケテ書ク必要
ガアルノデスカ、保險會社ノ内部ノ取
扱若シクハ規定、或ハ保險業ノ取締カ
ラ言フト、普通生命保險ト標準下體保
險ニ付テノ區分ヲ設ケテ色々取締ヲ
シ、經營ヲスル必要ガアルカモ知ラヌ
ガ、戰爭危險ノ再保險ト云フコトハド
ツチデモ差支ナイヤウナ氣ガシマス、
一號、二號ト特ニ分ケラレタノハ、何
カ必要ガアルノデスカ

○政府委員(吉村成一君) 此ノ第三號

ノ標準下體生命保險ノ再保險ノ引受ノ
場合ハ、戰爭危險ノ再保險ノ引受ハナ
イト云フ意味ニ於キマシテ、第一號ニ

掲ゲタモノヲ除イタノデゴザイマス、

詰リ標準下體生命保險ノ再保險ノ引受
ノ場合ニハ、戰爭危險ノ再保險ノ引受
ハ致サナイノデゴザイマス

○河田烈君 第三號ニ「標準下體生命

保險ノ引受及第一號ニ掲グルモノヲ除
クノ外標準下體生命保險ノ再保險ノ引
受」トアリマス、再保險ニ致サナイト云
フノガチヨット分ラナカタノデス
ガ……

○政府委員(吉村成一君) 標準下體生

命保險ノ引受ノ方ニ付テハ、其ノ中ニ
ハ戰爭危險ガゴザイマスノデ、是ハ戰爭
危險ヲ引受ケル譯デゴザイマス、只今
御話申上ゲマシタノハ再保險ノ引受ノ
方デゴザイマシテ、此ノ中ハ戰爭危險ノ
再保險ノ引受ハ含マナイノデアリマス、
○河田烈君 チヨット意味ガ分ラヌ、
此ノ第三號ハ「標準下體生命保險ノ引
受」此處デ切レルノデセウ、及第一
號ニ掲グルモノヲ除クノ外標準下體生
命保險ノ再保險ノ引受」ト、斯ウニツ
ニナルノデアリマセヌカ

○政府委員(迫水久常君) 生命保險中

央會ハ標準下體生命保險ソレ自體ノ元
受モ致スノデアリマス、又各會社ノ取
リマシタ標準下體生命保險ノ再保險ノ
引受モ致スノデアリマス、此ノ場合ニ
再保險ノ引受ト云フモノハ、戰爭危險
ニ依ツテサウ云フ標準下體ノ保險事故
ガ起ツタ場合ハカリデナク、總テヲ普
通……イヤ、死ソダ場合モ、此ノ再保險
ノ引受モ致シマス、ソレデ戰爭危險デ
生ジタルモノハ皆第一號ノ方ニ行キマス
ノデ、ソコデ「第一號ニ掲グルモノヲ除
クノ外」ト斯ウ書イテアルノデアリマス

○河田烈君 分リマシタ、ソレデ詰リ

第三號ニハ、戰爭危險ニアラザル標準
下體生命保險ノ方ニ付テハ、戰爭危險

デナイモノノ元受モシ、再保險モスル
ト、斯ウ云フ譯デスカ、ソレハ生命保
險中央會ノ目的ハ、必ズシモ戰爭危險
ヲ「カバ」スルト云フノミデナク、其
ノ他ノ社會更生ト云フコトヲ考ヘテ居
ルト見テ宜シイデスカ

○政府委員(追水久常君) 御話ノ通り、
生命保險制度全體ノ問題ヲ茲ニ考ヘテ

居ル次第デアリマス

○委員長(男爵東郷安君) 如何デゴザ
イマスカ、若シ質問ガ一應御濟ミデア
リマスカ、次ニ移リマスカ、ソレ
トモ今日ハ此ノ程度デ止メマスカ、或
ハ次ノ損害保險中央會ノ説明ダケヲ聽
イテ置キマスカ、ソレデハ今日ハ此ノ
程度デ散會致シマス、明後日午前十時
カラ開會致シマス

午後三時四十五分散會

出席者左ノ如シ

委員長 男爵東郷 安君
副委員長 子爵裏松 友光君
委員

侯爵德川 賴貞君
侯爵西郷吉之助君
伯爵柳澤 保承君
子爵矢野 功男君
子爵大岡 忠綱君
子爵松平 親義君
子爵水野 勝邦君
有吉 忠一君
青木、一男君
坂西利八郎君
男爵高木 喜寛君
松本 丞治君
河田 烈君
男爵宮原 旭君
有賀 光豊君
瀧 正雄君
竹下 豐次君

委員外議員

磯貝 浩君
中島德太郎君
古莊健次郎君
岩田 三史君
柴田兵一郎君
齋藤 齊君

政府委員

大藏政務次官 小笠原三九郎君
大藏省總務局長 山際 正道君
大藏省銀行保險局長 迫水 久常君
大藏書記官 吉村 成一君
同 櫛田 光男君